

高松港・坂出港長期構想検討委員会 第2回委員会資料



令和3年8月5日

香川県・坂出市

総目次

1. 高松港・坂出港長期構想の策定について	
1.1 長期構想の策定に向けて	1- 1
1.2 高松港・坂出港長期構想委員会の検討フロー	1- 2
2. 第1回委員会・幹事会	
2.1 高松港が果たす役割（課題の抽出）	2- 1
2.2 第1回委員会・幹事会での主要意見と対応（高松港）	2- 2
2.3 坂出港が果たす役割（課題の抽出）	2- 3
2.4 第1回委員会・幹事会での主要意見と対応（坂出港）	2- 4
3. ワーキンググループ	
3.1 クルーズワーキンググループの開催結果	3- 1
3.2 坂出港賑わい空間創出検討ワーキンググループの開催結果	3- 5
4. 高松港長期構想（素案）	
4.1 高松港が目指すべき方向性	4- 1
4.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ	4- 4
4.3 長期構想実現に向けた取組みとスケジュール	4-23
4.4 港湾利用ゾーニング	4-26
5. 坂出港長期構想（素案）	
5.1 坂出港が目指すべき方向性	5- 1
5.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ	5- 4
5.3 長期構想実現に向けた取組みとスケジュール	5-17
5.4 港湾利用ゾーニング	5-19
6. 高松港・坂出港の役割分担と連携	6- 1

参考資料

■ 1. 高松港・坂出港長期構想の策定について

■ 1. 1 長期構想の策定に向けて 1- 1

■ 1. 2 高松港・坂出港長期構想検討委員会の検討フロー 1- 2

1. 高松港・坂出港長期構想の策定について

1.1 長期構想の策定に向けて

◆背景

共通

- 高松港・坂出港は県内の海上輸送の大半を担っており、県経済に大きな影響力をもつ
- 高松港・坂出港の港湾計画は、平成9年度に改訂してから22年が経過
- スケールメリットによる輸送コストの低減を目的に、貨物船の大型化が進展
- 人口減少、高齢化進行による労働力不足
- 瀬戸内国際芸術祭をはじめとする県内イベントの活況とインバウンドの増加

高松港

- 高速道路網の充実により、本四間のフェリー航路の相次ぐ休廃止
- コンテナ貨物船やクルーズ客船の寄港が増加

坂出港

- 国内生産拠点の統廃合などにより、取扱貨物量が減少
- 坂出北ICのフルインター化など、陸上交通ネットワーク機能の向上

◆趣旨

- 長期構想とは、概ね20～30年先の長期を見通した港湾の姿を想定し、物流、交流、維持管理などの総合的な方針について、策定するものである。
- 両港が隣接した重要港湾であることを踏まえ、各々の特色を活かした将来像を描くため、両港を1つの委員会で検討する「高松港・坂出港長期構想検討委員会」を設置する。

高松港・坂出港長期構想検討委員会

長期構想

- ・ 概ね20～30年程度先を見通した高松港及び坂出港の将来像
- ・ 将来目標、長期的な港湾整備の方向性
- ・ 空間利用のゾーニング

長期構想のうち短中期的施策を抽出

高松港港湾計画(案)、坂出港港湾計画(案)

通常10～15年程度先を目標とした開発、利用及び保全の方針

1. 高松港・坂出港長期構想の策定について

1.2 高松港・坂出港長期構想検討委員会の検討フロー

高松港・坂出港長期構想検討委員会スケジュール(案)

年度	委員会等	検討内容	その他
R2	R2.12 第1回委員会・幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・高松港・坂出港を取り巻く現況 ・高松港・坂出港の課題の抽出 	
	R3.2 クルーズWG	<ul style="list-style-type: none"> ・大型クルーズ客船の受入れにあたっての両港の役割分担等(幹事会に反映) 	
	R3.3 坂出港賑わい空間創出検討WG(第1回、第2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・坂出港の西運河地区における賑わい空間のあり方(幹事会に反映) 	
R3	R3.7 坂出港賑わい空間創出検討WG(第3回)	<ul style="list-style-type: none"> ・坂出港の西運河地区における賑わい空間のあり方(幹事会に反映) 	
	R3.7 第2回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回委員会での主要意見と対応 ・高松港・坂出港が目指すべき方向性と実現に向けた取組み ・長期構想(素案) 	
	R3.8 第2回委員会		
	R3.12 第3回委員会・幹事会(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回委員会での主要意見と対応 ・長期構想(案) 	
	R4.● 第4回委員会・幹事会(予定)	※第3回委員会及びパブリックコメントの状況に応じて開催	パブリックコメントの実施
R4以降	<港湾計画の見直し>		

■ 2. 第1回委員会・幹事会

- 2. 1 高松港が果たす役割（課題の抽出） 2- 1
- 2. 2 第1回委員会・幹事会での主要意見と対応（高松港） . . 2- 2
- 2. 3 坂出港が果たす役割（課題の抽出） 2- 3
- 2. 4 第1回委員会・幹事会での主要意見と対応（坂出港） . . 2- 4

2. 第1回委員会・幹事会

2.1 高松港が果たす役割(課題の抽出)

高松港の特徴【総合港湾】

物流・産業	<ul style="list-style-type: none"> 取扱貨物の9割がフェリー 取扱貨物量は四国1位(四国7位)※ コンテナ貨物取扱量は四国1位
交流・賑わい	<ul style="list-style-type: none"> 海陸交通の結節点 市街地から近く、賑わいがある 客船専用岸壁がある
海域	<ul style="list-style-type: none"> 大型船の操船が難しい

高松港を取り巻く現況

社会経済	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少、高齢化進行と労働力不足 製造業の国内回帰とアジアへのシフト インバウンドの増加 陸上交通ネットワーク
海上物流	<ul style="list-style-type: none"> 海上物流ネットワーク 船舶の大型化と航行規制 取扱貨物量の推移と港間競争の激化
観光	<ul style="list-style-type: none"> 香川県の主な観光資源
自然災害	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害リスクと港湾における対応

高松港が果たす役割

【物流・産業】
アジアと繋がり、地域産業の持続的発展を支える港

【交流・賑わい】
海陸交通の要衝、快適で人々を惹きつける港

【安全・安心】
災害時の市民生活や企業活動を支える港

上位計画・関連計画

物流・産業	<ul style="list-style-type: none"> 港湾の物流の効率化、機能強化 広域交通ネットワークの充実・強化 企業立地の促進と産業基盤の強化 地場産業の販路拡大
交流・賑わい	<ul style="list-style-type: none"> 香川せとうちアートのブランド化の推進 クルーズ客船誘致の推進 観光客受入れ環境の整備 離島航路の確保及び利便性向上
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ地震、津波対策の推進 公共土木施設の老朽化対策の推進 災害時の輸送、物流拠点 災害廃棄物処理体制の推進

高松港への要請

物流・産業	<ul style="list-style-type: none"> コンテナターミナルへの意見 貨物バースへの意見
交流・賑わい	<ul style="list-style-type: none"> 国内フェリーへの意見 サンポート高松への意見 クルーズへの意見 景観への意見 海洋レジャーへの意見

高松港の課題

《物流・産業》

- ①増加するコンテナ貨物への対応
- ②荷主企業の配送効率改善
- ③企業誘致の機会損失への対応
- ④大型船舶への対応

《交流・賑わい》

- ①大規模イベントへの対応
- ②クルーズ客船の増加と大型クルーズ客船への対応
- ③玉藻地区の景観向上
- ④豊かなウォーターフロント空間の形成
- ⑤海洋レジャーによる賑わい創出

《安全・安心》

- ①南海トラフ等大規模地震・津波への対応
- ②港湾施設の老朽化対策
- ③浚渫土砂等への対応

※四国1位:フェリーにおける自動車航送車両(トン換算)を含む。 四国7位:フェリーにおける自動車航送車両(トン換算)を除く。

2. 第1回委員会・幹事会

2.2 第1回委員会・幹事会での主要意見と対応(高松港)

長期構想検討委員会 委員意見・回答一覧表

	主要意見	対 応
全般	<ul style="list-style-type: none"> ■長期構想について <ul style="list-style-type: none"> ・現実的に取組みを進めていくためには、期間を分けて優先順位を定めることが必要 ・人口が減少する中、持続可能な港とするため、両港が連携して施設の稼働率を上げることが必要 	⇒高松港長期構想の実現に向けた取組みとスケジュール ⇒両港の長期構想を1つの委員会で検討 高松港:大型クルーズ客船岸壁整備、コンテナターミナル整備 坂出港:大水深岸壁整備、定期RORO船航路の維持、拡充
物流産業	<ul style="list-style-type: none"> ■海上物流基盤の強化について <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナターミナルの拡張や岸壁の増深など、機能強化が必要 ・コンテナ取扱貨物量の増加が見込まれる中、朝日地区に倉庫が不足している。 ・朝日地区の西方面にある本町踏切の渋滞対策が必要 	⇒【方向性Ⅰ】「地域産業の競争力強化につながる海上物流基盤の強化」 ・国際物流ターミナルの外貨機能強化 ・臨海部を円滑に結ぶ幹線道路の整備
	<ul style="list-style-type: none"> ■浚渫土砂処分場と産業用地の確保について <ul style="list-style-type: none"> ・直轄事業で浚渫土砂の処理に困っている。 ・臨海部と高速道路を結ぶ高規格幹線道路が必要 	⇒【方向性Ⅱ】「浚渫土砂等の海面処分場と産業用地の確保」 ・海面処分場の設置と産業用地の確保
交流賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ■玉藻地区のフェリーターミナルについて <ul style="list-style-type: none"> ・フェリーターミナルは、人と車両の輻輳や待合空間の不足など、様々な問題を抱えている。 ・新県立体育館建設に伴う渋滞対策が必要 ・港と様々な交通手段との連携に向けた取組みが必要 	⇒【方向性Ⅲ】「フェリーターミナルの安全・快適性の確保」 ・中央突堤の歩行者・自動車動線の整理と空間の確保 ・玉藻地区における交通渋滞対策と交通機関の連携 ⇒【方向性Ⅳ】「既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出」 ・MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現
	<ul style="list-style-type: none"> ■クルーズ客船の受入れについて <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ岸壁とは別に大型クルーズ客船岸壁が必要 ・玉藻地区の客船岸壁では、バス待機スペースが不足している。 	⇒【方向性Ⅳ】「既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出」 ・玉藻地区におけるクルーズ客船受入れ機能の強化
	<ul style="list-style-type: none"> ■賑わい創出について <ul style="list-style-type: none"> ・玉藻地区中央埠頭付近の活性化が必要 ・賑わい空間には広場が必要 ・観光客の受入れ態勢をDXや電子化により業務改善していくことが必要 ・観光という観点で見た場合、海から陸を見て高松を評価することもあるため、海からの景観もきっちりと考えておくことが必要 	⇒【方向性Ⅳ】「既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出」 ・ウォーターフロントの賑わい空間を構築 ・MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現 ・賑わいエリアからの景観向上
安全安心	<ul style="list-style-type: none"> ■港の安全について <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な港は、ポートセールスの売り文句になる。 	⇒【方向性Ⅴ】「大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保」 ・計画的な地震・津波対策等の実施 ・フェリー岸壁の耐震化の実施 ・高松港BCPの充実 ⇒【方向性Ⅵ】「ストックマネジメントの推進」 ・計画的な点検・補修の実施 ・施設の廃止・利用転換

※対応欄における【方向性Ⅰ～Ⅵ】は、資料4-3における **高松港が目指すべき方向性** を指す。

2. 第1回委員会・幹事会

2.3 坂出港が果たす役割(課題の抽出)

坂出港の特徴【工業港湾】

物流・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・背後に番の州工業地帯 ・取扱貨物量は四国4位(四国2位)※ ・エネルギー、穀物関連企業が集積
交流・賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいが限定的 ・クルーズ客船の受入れが少ない
海域	<ul style="list-style-type: none"> ・船舶の安全で容易な航行が可能 ・陸域近くまで水深が深い

坂出港を取り巻く現況

社会経済	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、高齢化進行と労働力不足 ・製造業の国内回帰とアジアへのシフト ・インバウンドの増加 ・陸上交通ネットワーク
海上物流	<ul style="list-style-type: none"> ・海上物流ネットワーク ・船舶の大型化と航行規制 ・取扱貨物量の推移と港間競争の激化
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・香川県の主な観光資源
自然災害	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害リスクと港湾における対応

坂出港が果たす役割

【物流・産業】
背後企業の成長を支え、競争力・利便性の高い港

【交流・賑わい】
市民が集い、観光客を呼び込む魅力ある港

【安全・安心】
災害時の市民生活や企業活動を支える港

上位計画・関連計画

物流・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾の物流の効率化、機能強化 ・企業立地の促進と産業基盤の強化 ・保安体制の確立 ・定期航路の誘致
交流・賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客船誘致の推進 ・都市環境の整備 ・観光振興
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震、津波対策の推進 ・公共土木施設の老朽化対策の推進 ・防災拠点としての機能強化

坂出港への要請

物流・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・定期RORO航路新設への意見 ・滞船への意見 ・倉庫・産業用地への意見
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

坂出港の課題

《物流・産業》

- ①荷主企業の配送効率改善
- ②港湾物流機能の強化
- ③企業誘致の機会損失への対応
- ④四国のエネルギー拠点化

《交流・賑わい》

- ①観光客・クルーズ客船の誘致
- ②市街地での賑わい交流拠点の創出

《安全・安心》

- ①南海トラフ等大規模地震・津波への対応
- ②港湾施設の老朽化対策
- ③浚渫土砂等への対応

※四国4位:フェリーにおける自動車航送車両(トン換算)を含む。 四国2位:フェリーにおける自動車航送車両(トン換算)を除く。

2. 第1回委員会・幹事会

2.4 第1回委員会・幹事会での主要意見と対応(坂出港)

長期構想検討委員会 委員意見・回答一覧表

	主要意見	対応
全般	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長期構想について <ul style="list-style-type: none"> ・現実的に取組みを進めていくためには、期間を分けて優先順位を設定することが必要 ・人口が減少する中、持続可能な港とするため、両港が連携して施設の稼働率を上げることが必要 	⇒坂出港長期構想の実現に向けた取組みとスケジュール ⇒両港の長期構想を1つの委員会で検討 高松港:大型クルーズ客船岸壁整備、コンテナターミナル整備 坂出港:大水深岸壁整備、定期RORO船航路の維持、拡充
物流産業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浚渫土砂処分場と産業用地の確保について <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸部に産業用地が不足しているため、総社地区に埋立地が必要 	⇒【方向性Ⅰ】「浚渫土砂等の海面処分場と産業用地の確保」 ・海面処分場の設置と産業用地の確保
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 埠頭再編について <ul style="list-style-type: none"> ・総社地区の埋立地に船舶の大型化に対応した大水深岸壁を整備することが必要 ・既存岸壁の老朽化と背後地狭小対策として、埠頭の再編が必要 ・林田地区における滞船対策が必要 	⇒【方向性Ⅱ】「物流・生産・エネルギー拠点として港湾機能の強化と再編」 ・大型船に対応した新たな大水深岸壁の確保と埠頭利用の再編
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海上輸送機能強化について <ul style="list-style-type: none"> ・RORO船の定期航路が必要 	⇒【方向性Ⅲ】「陸上交通網を生かした貨物の集荷と海上輸送手段の確保」 ・定期RORO船航路の維持、拡充
交流賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ■ 賑わい創出について <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客船については高松港の補完港として位置づけ ・港と様々な交通手段との連携に向けた取組みが必要 ・観光客の受入れ態勢をDXや電子化により業務改善していくことが必要 ・坂出の賑わい創出に瀬戸大橋をもっと活用することが必要 ・工業港ならではの魅力を再検討することが必要 	⇒【方向性Ⅳ】「みなとを活かした賑わい・交流拠点の創出」 ・西運河地区の賑わい創出 ・MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現
安全安心	<ul style="list-style-type: none"> ■ 港の安全について <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な港は、ポートセールスの売り文句になる。 	⇒【方向性Ⅴ】「大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保」 ・計画的な地震・津波対策等の実施 ・坂出港BCPの充実 ⇒【方向性Ⅵ】「ストックマネジメントの推進」 ・計画的な点検、補修の実施 ・施設の廃止・利用転換

※対応欄における【方向性Ⅰ～Ⅵ】は、資料5-3における 坂出港が目指すべき方向性 を指す。

■ 3. ワーキンググループ

■ 3. 1 クルーズワーキンググループの開催結果 3- 1

■ 3. 2 坂出港賑わい空間創出検討ワーキンググループの開催結果 . . 3- 5

3. ワーキンググループ

3.1 クルーズワーキンググループの開催結果①

○高松港・坂出港長期構想検討委員会における個別課題である「大型クルーズ客船の受入れにあたっての両港の役割分担等」について検討を行い、委員会に付議すべき事項として、両港の目指すべき方向性(案)の抽出を行った。

【開催概要】

- ・開催日：令和3年2月10日（水）
- ・参加機関：国土交通省四国地方整備局、国土交通省四国運輸局、高松海上保安部、香川県、高松市、坂出市、公益社団法人 香川県観光協会、高松商工会議所、坂出商工会議所

【クルーズワーキンググループの目的】

○要望(第1回高松港・坂出港長期構想検討委員会でのご意見)

高松港：コンテナ岸壁以外で大型クルーズ客船の受入れ場所を検討すべき

坂出港：高松港で受入れ出来ない余剰を坂出港が受け皿として位置づけできないか

※坂出ニューポートプランでは、大型クルーズ客船誘致を旨とするとしている

厳しい財政状況の中、大型クルーズ客船の受入れ施設整備を一本化したい。

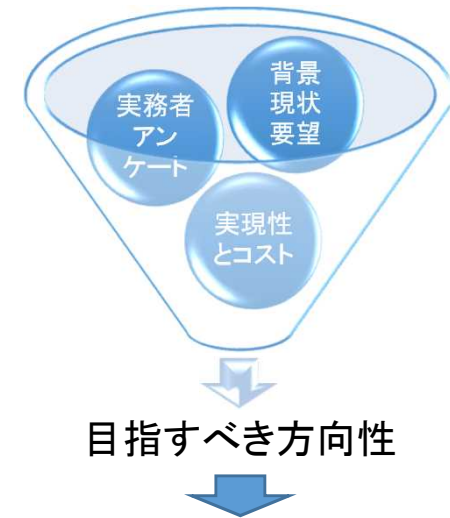


クルーズWGでは、両港の大型クルーズ客船受入れの在り方を検討し、目指すべき方向性を第2回委員会に諮る



出典：香川県

クルーズワーキンググループの開催状況



目指すべき方向性



第2回高松港・坂出港長期構想検討委員会

3. ワーキンググループ

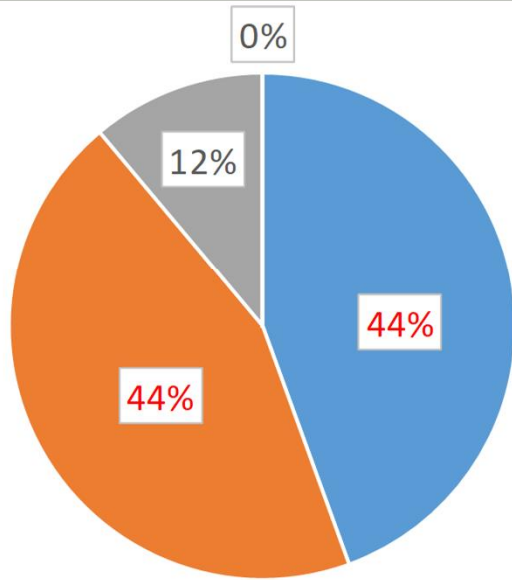
3.1 クルーズワーキンググループの開催結果②

【実務者アンケートの結果(抜粋)】

- 依頼先：①香川県クルーズ誘致アドバイザー 2社
 ②船舶総代理店 3社
 (国内における港の岸壁予約、C I Q手続き等の運航に係る会社)
 ③ランドオペレーター 3社
 (国内における寄港時の観光ツアー造成と当日のツアー実施等に係る会社)
 ④一般財団法人 みなと総合研究財団クルーズ総合研究所
 以上、**9社を対象に実施**

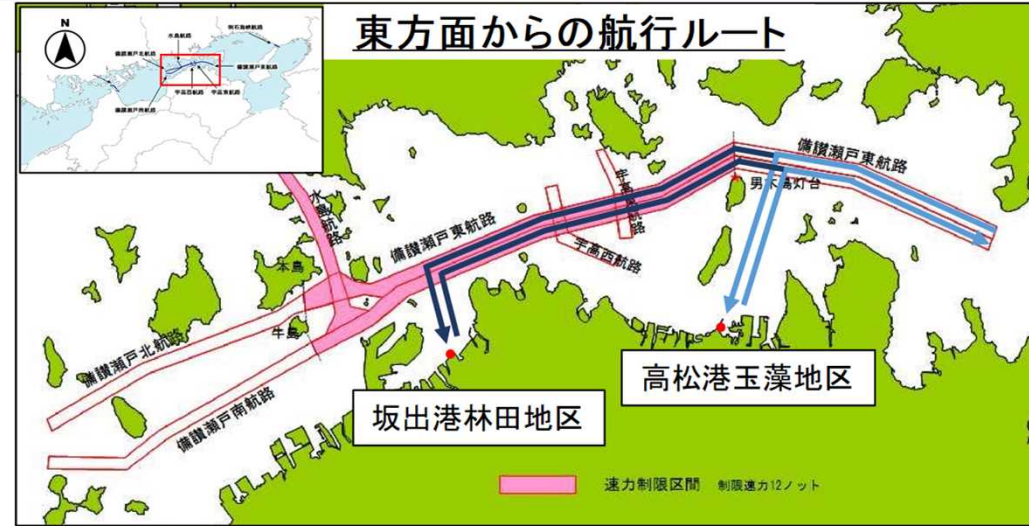
Q 香川県内に寄港が見込まれるクルーズ客船

香川県の観光施設の状況等を踏まえ、香川県における外国クルーズ客船の誘致・受入れに際して、どの程度までの大きさのクルーズ客船が合っているか？



■ 5万トン級まで ■ 11万トン級まで ■ 3万トン級まで ■ 14万トン級まで ■ その他

結果 ①11万トン級まで ②5万トン級まで



出典：四国運輸局ホームページを基に県が作成

Q 寄港地として選定される港

長さ200m以上の外国クルーズの船会社はどのような要素で寄港地を決めているのか？



優先順位の上位3つを得点化し、評価
 (優先①: 3点、優先②: 2点、優先③: 1点)

結果 ①港までの航路の通航 ②港での滞在時間

3. ワーキンググループ

3.1 クルーズワーキンググループの開催結果③

【両港の目指すべき方向性(案)】

両港の目指すべき方向性として、次の3パターンを比較し、評価要素による点数化。
 ①高松港玉藻地区で整備 ②坂出港総社地区で整備 ③現状のまま(整備なし)

評価要素	長期構想に位置付ける (整備時期は未定とし、今後の動向を注視)				現状のまま (整備なし)					
	パターン①		パターン②		パターン③					
	高松港 玉藻地区		坂出港 総社地区		高松港			坂出港		
					コンテナ岸壁		玉藻地区		林田地区	
受入れ可能な船舶	3	11万トン カバー率78%	3	11万トン カバー率78%	3	11万トン カバー率78%	2	5万トン カバー率40%	2	5万トン カバー率40%
夜間航行規制の影響	1	ある	0	かなりある	1	ある	1	ある	0	かなりある
整備コストと時間	2	既設改良	0	新設	3	整備なし	3	整備なし	3	整備なし
背後地の景観	3	サンポート	1	貨客併用	1	貨客併用	3	サンポート	1	貨客併用
街への近さ	3	徒歩圏内	0	遠い	1	やや遠い	3	近い	0	遠い
港の受入れ実績・認知度	3	多い	1	少ない	1	少ない	3	多い	1	少ない
岸壁の利用調整	3	専用岸壁	1	貨客併用	1	貨客併用	3	専用岸壁	0	今後困難
入出港のしやすさ	1	狭い	3	広い穏やか	2	ふつう	1	狭い	3	広い穏やか
評価点	19		9		13		19		10	
					16					

3:良好 2:比較的良好 1:比較的悪い 0:悪い

3. ワーキンググループ

3.1 クルーズワーキンググループの開催結果④

【両港の目指すべき方向性(案)】

背景

- ・アジアのクルーズ成長の見込み
- ・クルーズ客船の大型化
- ・他港への大型船寄港実績
- ・国の動き(更なる寄港推進)

現状と問題点

- ・貨物バースでの受入れ
- ・寄港実績
- ・寄港地観光ツアー
- ・瀬戸内海における規制

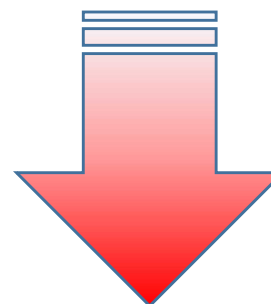
要望

- ・(高松港)
- ・コンテナ岸壁以外での大型船対応(坂出港)
- ・高松港の補完港としての位置づけ
- ※坂出ニューポートプラン

アンケート

- ・日本配船数の見込み
- ・瀬戸内海横断航行の見込み
- ・高松港と坂出港の認知度
- ・香川県に見合った大きさ

港地区	岸壁整備		現状のまま(整備なし)	
	①高松港 玉藻地区	②坂出港 総社地区	③高松港 玉藻地区/ コンテナ岸壁	④坂出港 林田地区
評価点	19 (案1)	9	16 (案2)	10



目指すべき方向性(案) (大型クルーズ客船に関する棲み分け)

- ・高松港: 玉藻地区に大型クルーズ客船対応岸壁を位置付ける。
- ・坂出港: 大型クルーズ客船対応岸壁を新たに位置付けせず、中小型クルーズ客船において高松港を補完する。

3. ワーキンググループ

3.2 坂出港賑わい空間創出検討ワーキンググループの開催結果①

○高松港・坂出港長期構想検討委員会における個別課題である「坂出港の西運河地区における賑わい空間のあり方」について検討を行い、委員会に付議すべき事項として、整備の方向性・今後の検討の具体化について議論した。

【ワーキンググループの目的・開催概要】

- ・ 目的：令和元年8月に取りまとめられた坂出ニューポートプランにおいて、西運河地区については『賑わい・交流拠点の創出空間』という位置付けになっており、本ワーキングにおいて整備の方向性・今後の検討の具体化について案を取りまとめることを目的とする。
- ・ 開催日：令和3年3月1日（月）（第1回）
令和3年3月30日（火）（第2回）
令和3年7月9日（金）（第3回）
- ・ 参加機関：香川大学、坂出商工会議所、坂出港振興協会、坂出市観光協会、国土交通省四国地方整備局、香川県、坂出市



出典：坂出市

賑わいワーキンググループの開催状況

令和3年3月1日 第1回検討ワーキング

- 西運河地区の現況を把握
- 西運河地区の活用方法について意見交換

令和3年3月30日 第2回検討ワーキング

- 西運河地区における賑わい空間の整備の方向性・今後の検討の具体化について提示

令和3年7月9日 第3回検討ワーキング

- 市民アンケート及び民間事業者ヒアリングの分析結果の報告
- 市民アンケート等を踏まえた西運河地区の賑わいコンセプト及び整備の方向性等の提示
- 坂出港賑わい空間創出検討ワーキンググループのまとめ

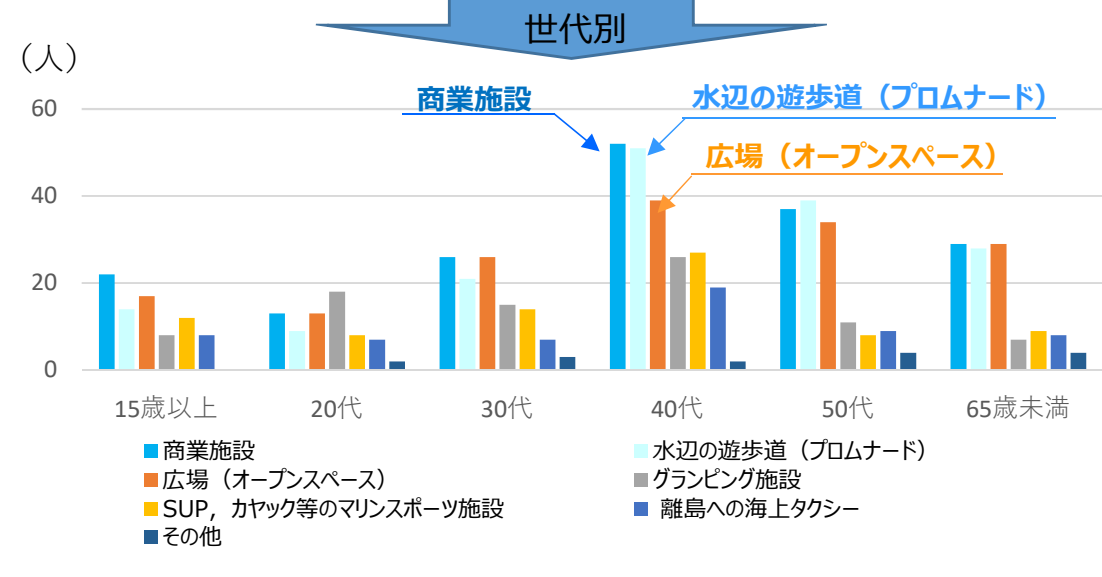
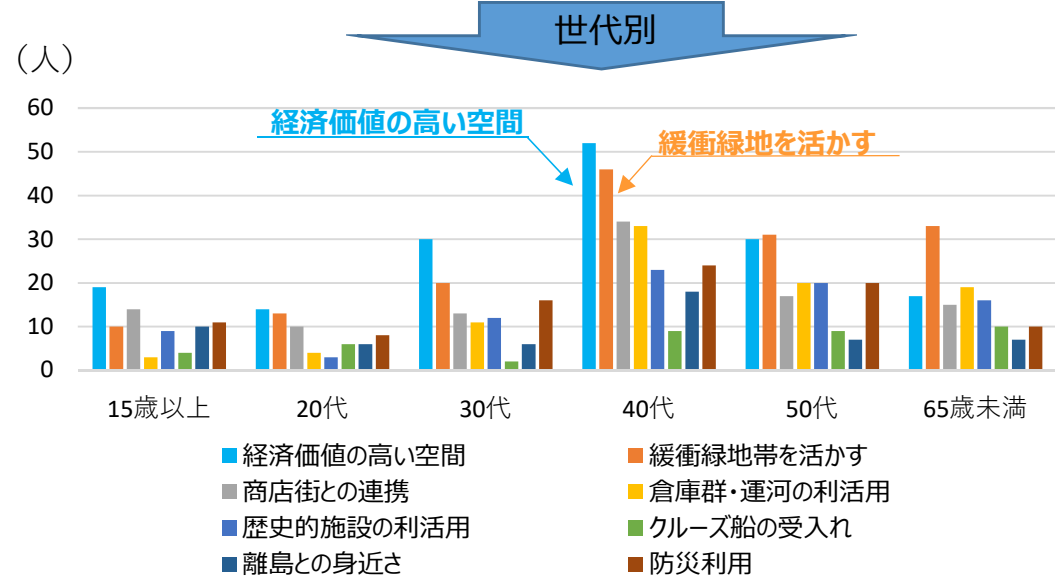
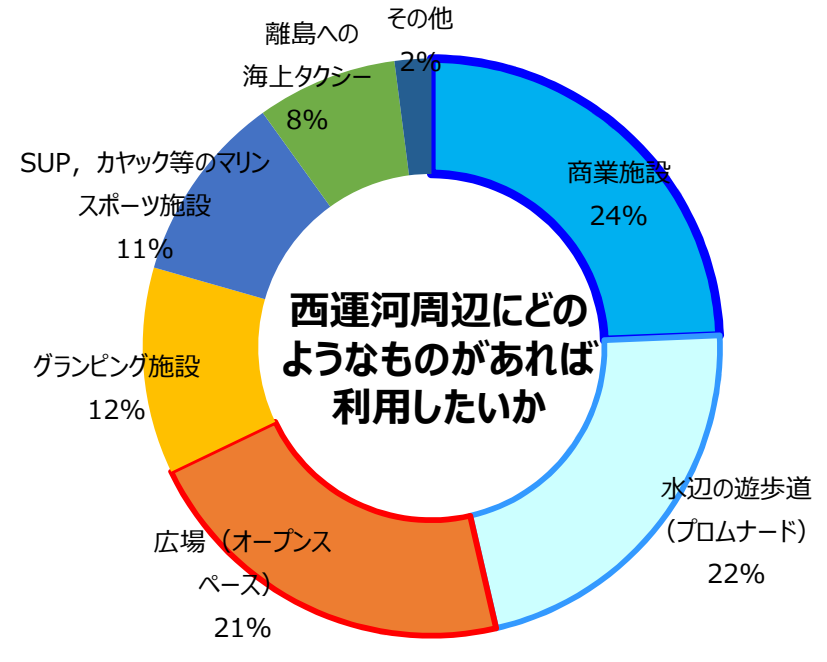
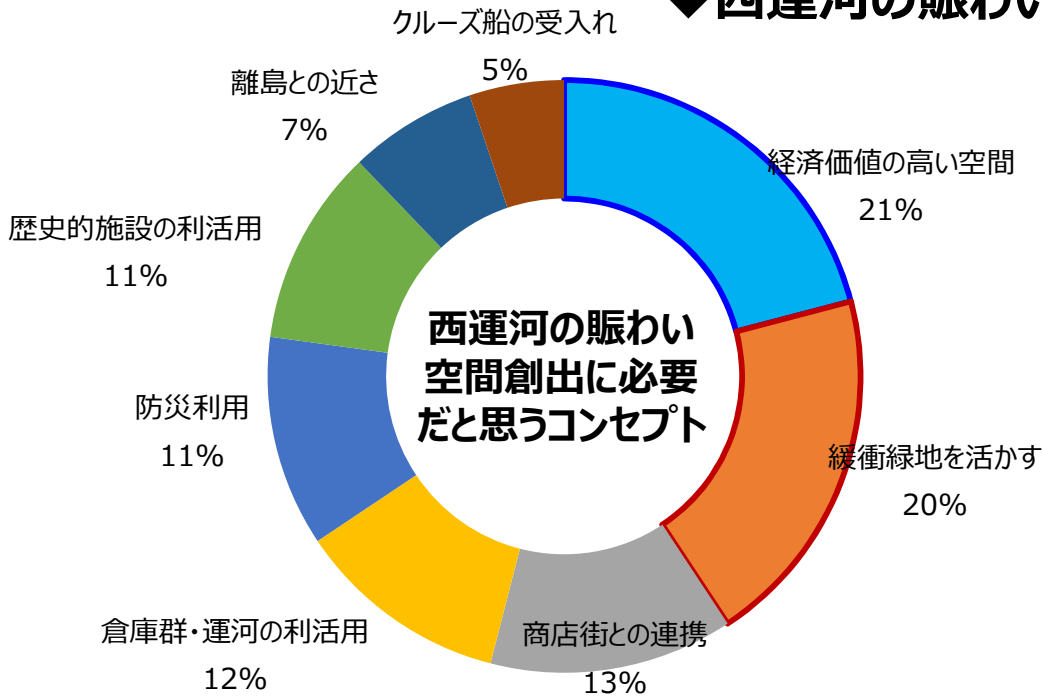
第2回高松港・坂出港長期構想検討委員会

3. ワーキンググループ

3.2 坂出港賑わい空間創出検討ワーキンググループの開催結果②

【市民アンケート集計結果（抜粋）】

◆西運河の賑わい空間創出の方向性について

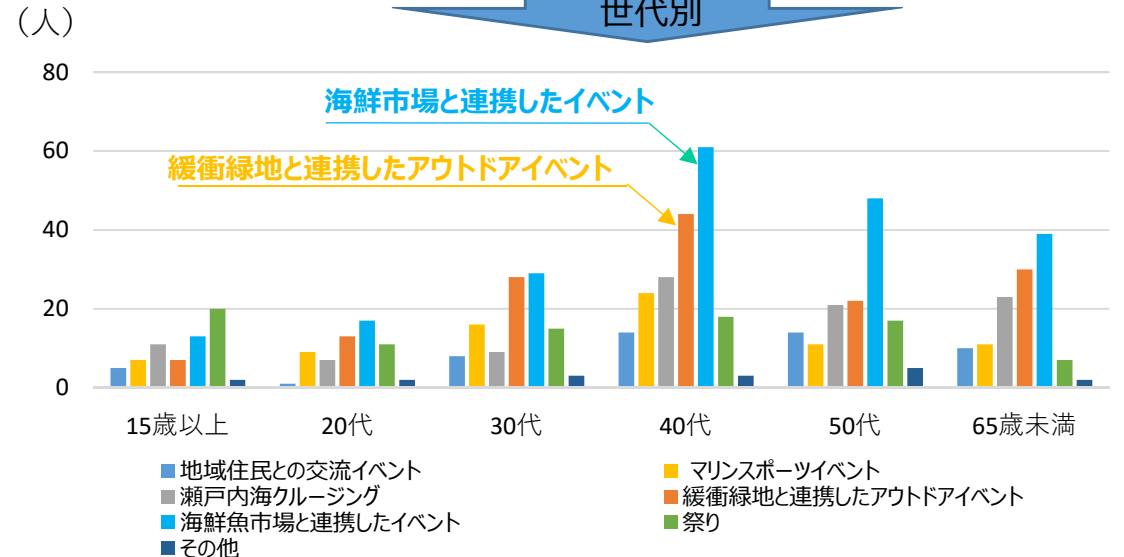
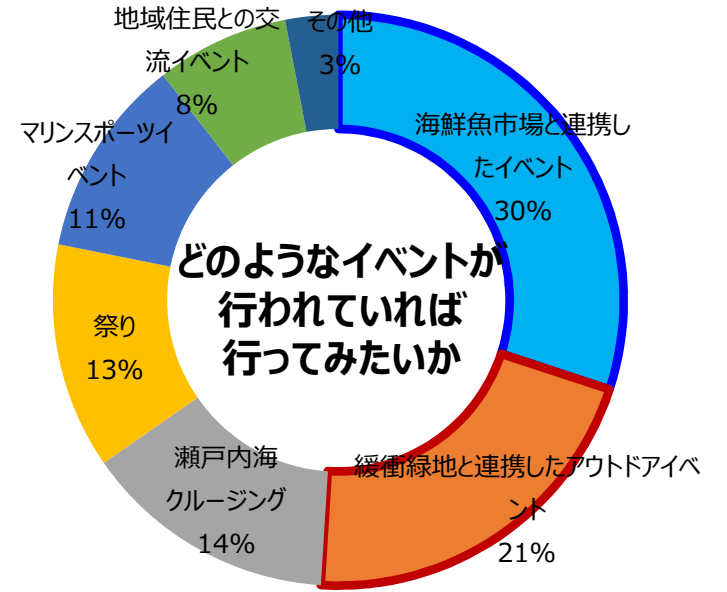
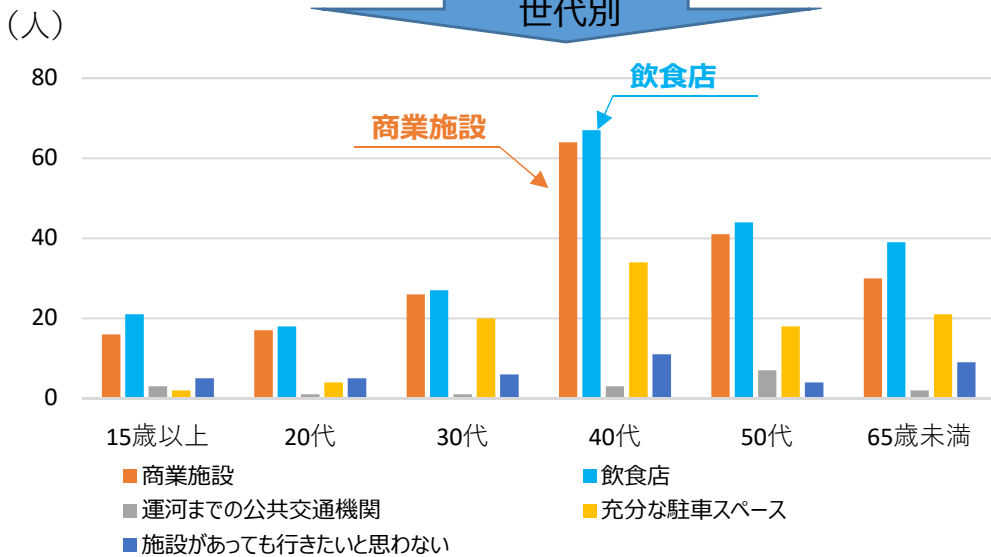
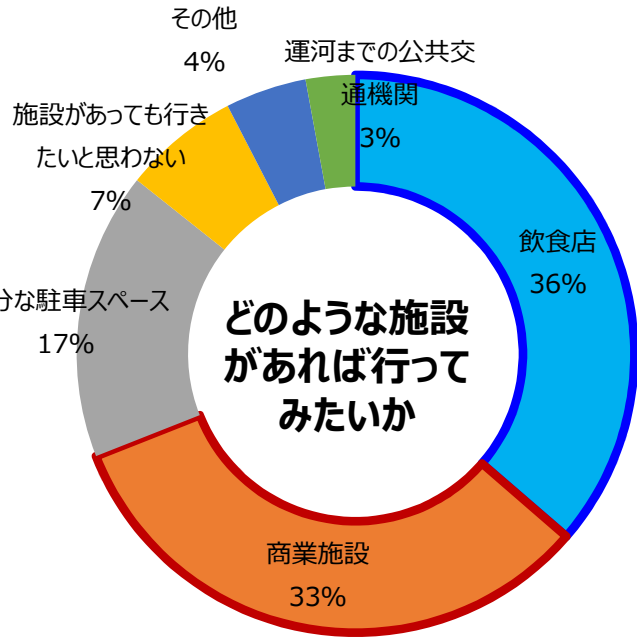


3. ワーキンググループ

3.2 坂出港賑わい空間創出検討ワーキンググループの開催結果③

【市民アンケート集計結果（抜粋）】

◆西運河の賑わい空間創出の方向性について

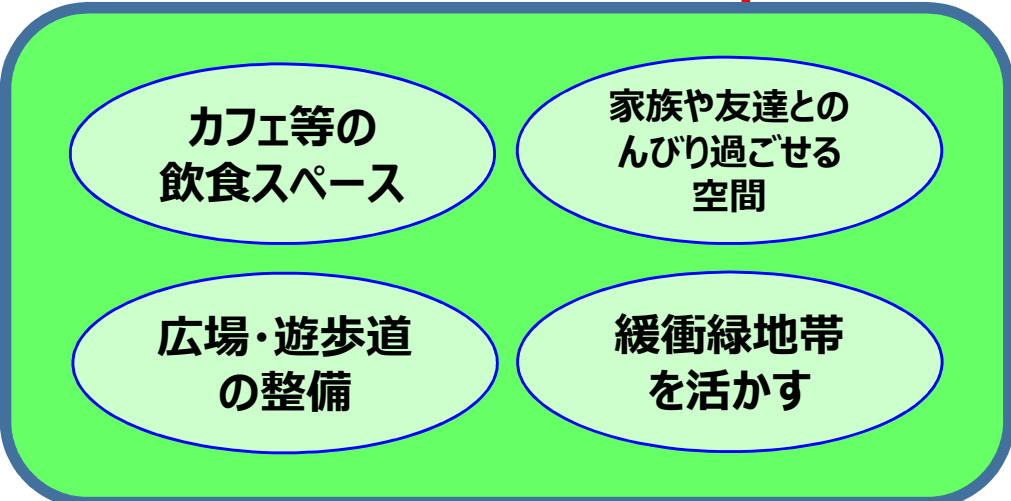
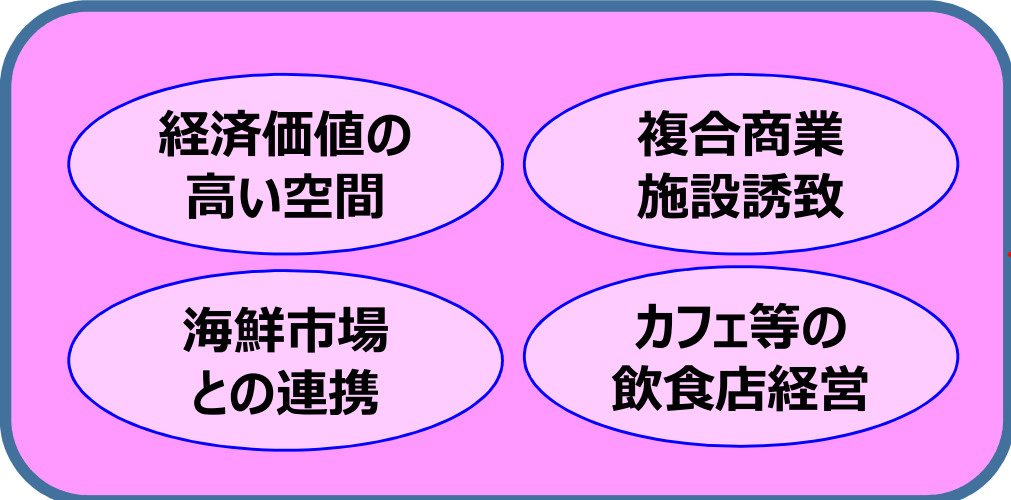


3. ワーキンググループ

3. 2 坂出港賑わい空間創出検討ワーキンググループの開催結果④

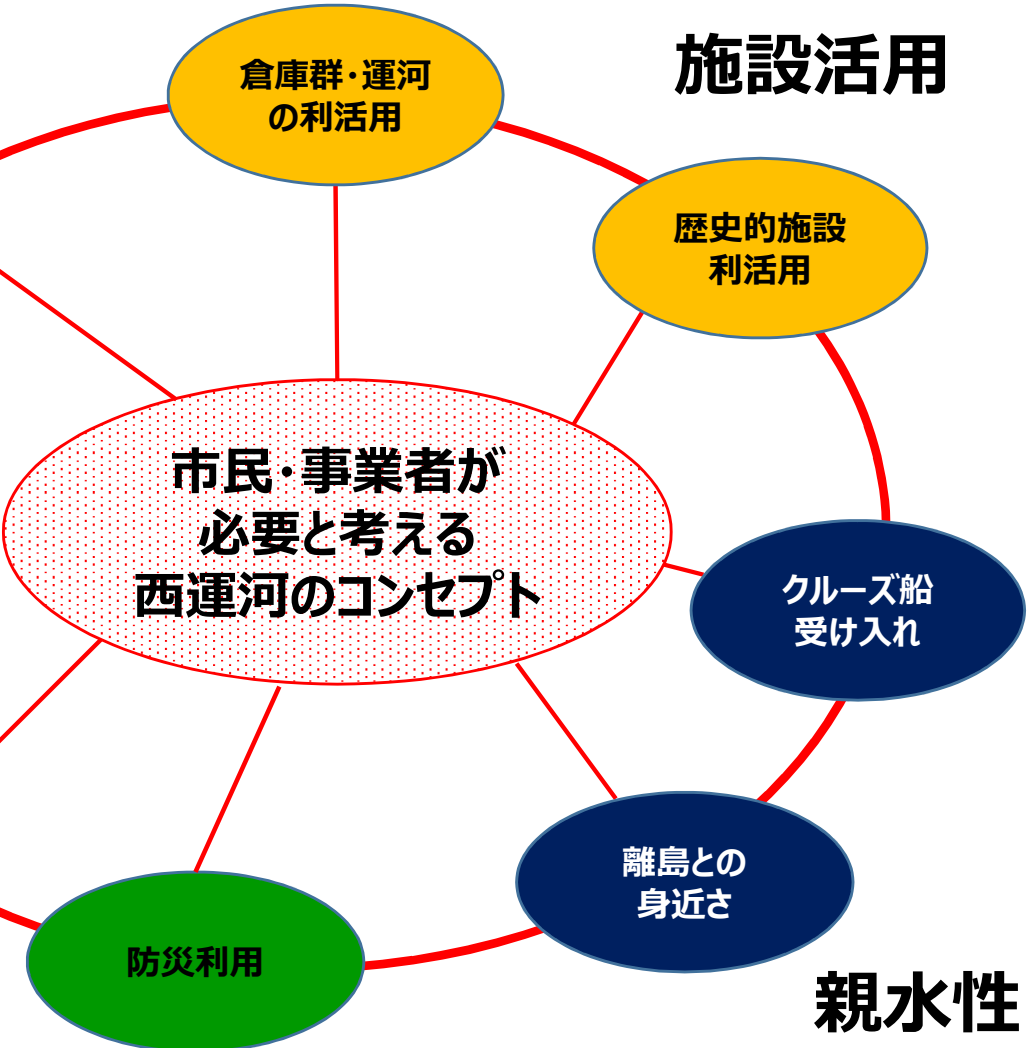
【市民アンケート及び事業者ヒアリングを踏まえた西運河地区の賑わいコンセプト】

経済効果



オープンスペース

施設活用



親水性

3. ワーキンググループ

3.2 坂出港賑わい空間創出検討ワーキンググループの開催結果⑤

【市民アンケート及び事業者ヒアリングを踏まえた西運河地区の整備の方向性等】

整備の方向性

1. 運河の活用

- ・市民に愛され訪れたいくなる親水空間を創出
- ・運河の歴史を残す

2. 既存施設の活用

- ・倉庫等の港湾施設をリノベーション
- ・交流施設や商業施設としての新たな活用

3. 埋め立てによる土地の確保

- ・運河沿いにオープンスペースを創出
- ・老朽化した港湾施設の廃止と改良
- ・津波防護ラインの確保

4. 近隣施設との連携

- ・坂出緩衝緑地や近隣商業施設
- ・中央ふ頭地区及び西運河地区

整備する施設等

カフェ等飲食店

ショッピングが
楽しめる空間水辺の遊歩道
(プロムナード)家族や友達と
のんびり
過ごせる空間緩衝緑地や
海鮮市場との
連携

賑わいづくりに必要な考え方

仕掛けづくり

- ・ランドマーク（核）となるもの
- ・核を活かす工夫

キーマンの存在

- ・人と人とのつながり
- ・市民、企業、行政の協働

継続性

- ・明確なコンセプト
- ・知恵、アイデア

■ 4. 高松港長期構想（素案）

- 4. 1 高松港が目指すべき方向性 4- 1
- 4. 2 長期構想実現に向けた取組みイメージ 4- 4
- 4. 3 長期構想実現に向けた取組みとスケジュール 4-23
- 4. 4 港湾利用ゾーニング 4-26

4. 高松港長期構想(素案)

4.1 高松港が目指すべき方向性

高松港が果たす役割

【物流・産業】

アジアと繋がり、地域産業の持続的発展を支える港

【交流・賑わい】

海陸交通の要衝、快適で人々を惹きつける港

【安全・安心】

災害時の市民生活や企業活動を支える港

【目指すべき方向性】

I. 地域産業の競争力強化につながる海上物流基盤の強化 【物流・産業】

II. 浚渫土砂等の海面処分場と産業用地の確保 【物流・産業】

III. フェリーターミナルの安全・快適性の確保 【交流・賑わい】

IV. 既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出 【交流・賑わい】

V. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保 【安全・安心】

VI. スtockマネジメントの推進 【安全・安心】

4. 高松港長期構想(素案)

4.1 高松港が目指すべき方向性

高松港が目指すべき方向性と上位計画・関連計画における港湾関連施策を整理したものを示す。

役割	目指すべき方向性	上位計画・関連計画(代表例)	
		計画名	計画内容
物流産業	I. 地域産業の競争力強化につながる海上物流基盤の強化	【国】 ・PORT 2030 ・四国港湾ビジョン2040	・グローバルバリューチェーンを支える海上輸送網の構築 ・情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靱化 ・コンテナ船やバルク船等の大型化等に対応した港湾整備による物流効率化 ・港湾・物流活動のグリーン化～CO2排出源・吸収源対策～
		【県】 ・香川県次期総合計画「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画(仮称)」(素案)	・デジタル技術を活用した地域課題の解決と産業の活性化 ・地球温暖化対策の推進
		【市】 ・第6次高松市総合計画 ・高松市都市計画マスタープラン	・拠点性を発揮できる都市機能の充実(拠点性を高める交通網の整備と利用促進) ・環境と共生する持続可能な循環型社会の形成(地球温暖化対策の推進) ・高松港におけるコンテナターミナルの整備促進
	II. 浚渫土砂等の海面処分場と産業用地の確保	【県】 ・香川県次期総合計画「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画(仮称)」(素案) ・高松広域都市計画区域マスタープラン	・企業立地の促進と産業基盤の強化 ・臨海部における工業用地等の造成、企業進出の推進
交流賑わい	III. フェリーターミナルの安全・快適性の確保	【国】 ・PORT 2030 ・四国港湾ビジョン2040	・情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靱化 ・列島のクルーズアイランド化 ・バースウィンドウの予約管理システムの導入、システムとMaaSの連携促進
	IV. 既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出	【県】 ・香川県次期総合計画「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画(仮称)」(素案)	・MICE、クルーズ客船誘致の推進 ・デジタル技術を活用した地域課題の解決と産業の活性化 ・行政のデジタル化の推進
		【市】 ・第6次高松市総合計画	・参画・協働によるコミュニティの再生(離島の振興) ・訪れたい観光・MICEの振興(観光客受入環境の整備)
安全安心	V. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保	【国】 ・四国港湾ビジョン2040 ・四国圏広域地方計画	・ハード対策(耐震強化岸壁の整備等)とソフト対策(航路啓開等の体制強化) ・南海トラフ地震に対する安全・安心の確保
		【県】 ・香川県次期総合計画「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画(仮称)」(素案)	・南海トラフ地震・津波対策の推進
	VI. ストックマネジメントの推進	【国】 ・四国圏広域地方計画	・急速に老朽化を迎える社会インフラの維持・管理・更新
		【県】 ・香川県次期総合計画「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画(仮称)」(素案)	・公共土木施設の老朽化対策の推進
	【市】 ・第6次高松市総合計画	・健全で信頼される財政運営の確立(効率的で効果的な行財政運営の推進)	

4. 高松港長期構想(素案)

4.1 高松港が目指すべき方向性

高松港が目指すべき方向性を踏まえ、SDGsの理念に沿って展開する長期構想実現に向けた取組みを示す。

【目指すべき方向性】

【物流・産業】

アジアと繋がり、地域産業の持続的発展を支える港

I. 地域産業の競争力強化につながる海上物流基盤の強化

II. 浚渫土砂等の海面処分場と産業用地の確保

【交流・賑わい】

海陸交通の要衝、快適で人々を惹きつける港

III. フェリーターミナルの安全・快適性の確保

IV. 既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出

【安全・安心】

災害時の市民生活や企業活動を支える港

V. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保

VI. スtockマネジメントの推進

【実現に向けた取組み】

- I
- ① 国際物流ターミナルの外貨機能強化
 - ② 高松神戸航路の物流機能強化
 - ③ 臨海部を円滑に結ぶ幹線道路の整備
 - ④ 脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化

- II
- ① 海面処分場の設置と産業用地の確保

- III
- ① 中央突堤の歩行者・自動車動線の整理と空間の確保
 - ② 玉藻地区における交通渋滞対策と交通機関の連携

- IV
- ① 玉藻地区におけるクルーズ客船受入れ機能の強化
 - ② ウォータフロントの賑わい空間を構築
 - ③ MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現
 - ④ 賑わいエリアからの景観向上
 - ⑤ 船溜まりの静穏度確保

- V
- ① 計画的な地震・津波対策等の実施
 - ② フェリー岸壁の耐震化の実施
 - ③ 高松港BCPの充実

- VI
- ① 計画的な点検、補修の実施
 - ② 施設の廃止・利用転換

4. 高松港長期構想(素案) 【物流・産業】アジアと繋がり、地域産業の持続的発展を支える港

4.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

I. 地域産業の競争力強化につながる海上物流基盤の強化①

(参考) 第1回資料 2-8、2-9、2-15、2-19、2-23、2-31、2-33、
3-8、3-9、3-10、3-12、7-1、7-3、7-4、7-6

【現状と問題点】

- ・コンテナターミナルでは、手狭なヤードで非効率な荷役が行われている。
- ・東南アジアとの定期航路が望まれるが、航路の平均船型に対しコンテナ岸壁の水深が不足している。
- ・-12m耐震強化岸壁で大型の自動車専用船の需要があるが、岸壁延長が不足している。

【要請と課題】

- ・コンテナターミナルの機能強化
- ・東南アジアとのコンテナ船定期航路の誘致
- ・コンテナターミナルの情報化技術の導入
- ・大型船に対応した岸壁機能の確保
- ・外貨発展に資する倉庫の確保

【実現に向けた取組み:①国際物流ターミナルの外貨機能強化】

- ①-1.コンテナターミナルの拡張、岸壁増深等(一部実施中) ①-2.コンテナターミナルの情報化技術の導入
①-3.-12m岸壁の延伸 ①-4.倉庫用地の確保



(参考) 第1回資料 2-16、2-23、2-31、3-4、
3-8、3-9、3-13、7-3

4. 2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

1. 地域産業の競争力強化につながる海上物流基盤の強化②

【現状と問題点】

- ・高松神戸航路では、貨物の積み残しが発生している。
- ・新造船建造により船舶が大きくなり、既存岸壁で対応できない。

【要請と課題】

- ・大型船に対応した岸壁の確保
- ・待機スペースの拡張

【実現に向けた取組み:②高松神戸航路の物流機能強化】

- ②-1.岸壁の新設(実施中) ②-2.待機スペースの拡張(実施中)



4. 高松港長期構想(素案) 【物流・産業】アジアと繋がり、地域産業の持続的発展を支える港

4. 2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考)第1回資料 2-14、2-31、7-5

1. 地域産業の競争力強化につながる海上物流基盤の強化③

【現状と問題点】

・物流拠点(朝日地区)の西側にある本町踏切で交通渋滞が慢性的に発生している。

【要請と課題】

・本町踏切付近の渋滞緩和と安全確保。

【実現に向けた取組み:③臨海部を円滑に結ぶ幹線道路の整備】

③-1.踏切改良の実施(高松市) ③-2.課題解決に向けた対応策の検討と実施(琴電連立検討委員会で検討中)



4. 高松港長期構想(素案) 【物流・産業】アジアと繋がり、地域産業の持続的発展を支える港

4.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考) 第1回資料 2-31、2-32、2-33、3-7、3-10、7-1

1. 地域産業の競争力強化につながる海上物流基盤の強化④

【現状と問題点】

- ・世界各国が脱炭素社会の実現にむけて舵を切っている。
- ・我が国においても、2050年までに脱炭素社会を目指すと言っている。

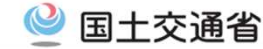
【要請と課題】

- ・カーボンニュートラルポート(CNP)の実現に貢献する港湾

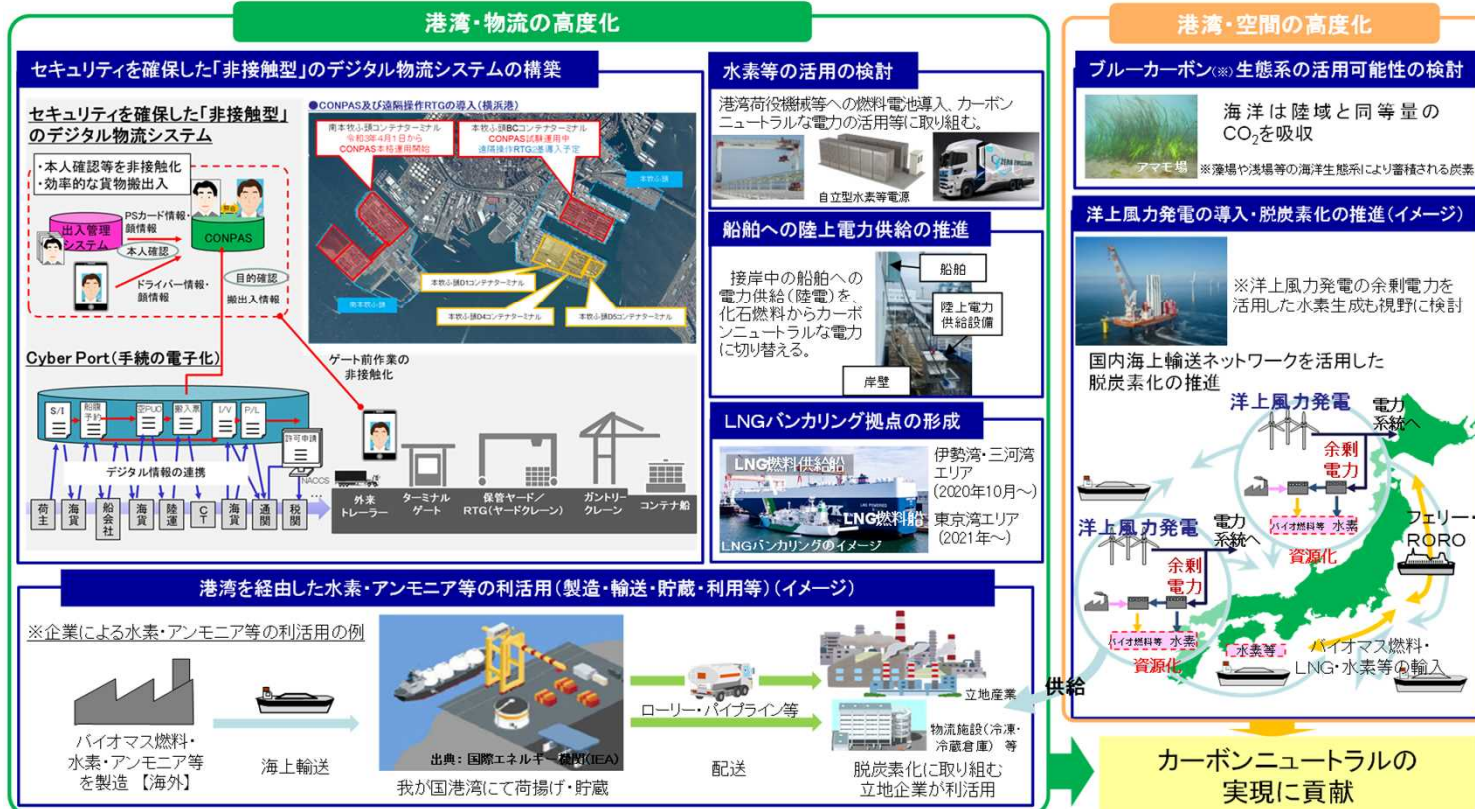
【実現に向けた取組み: ④脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化】

④-1. 国や企業との連携によるエネルギー施策を促進

【参考】脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化(イメージ)



世界的な脱炭素化への動きや政府方針等を踏まえ、我が国の輸出入の99.6%を取り扱い、CO2排出量の約6割を占める産業の多くが立地する港湾において、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて「カーボンニュートラルポート(CNP)」を形成し、我が国全体の脱炭素社会の実現に貢献していく。



4. 高松港長期構想(素案) 【物流・産業】アジアと繋がり、地域産業の持続的発展を支える港

4. 2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

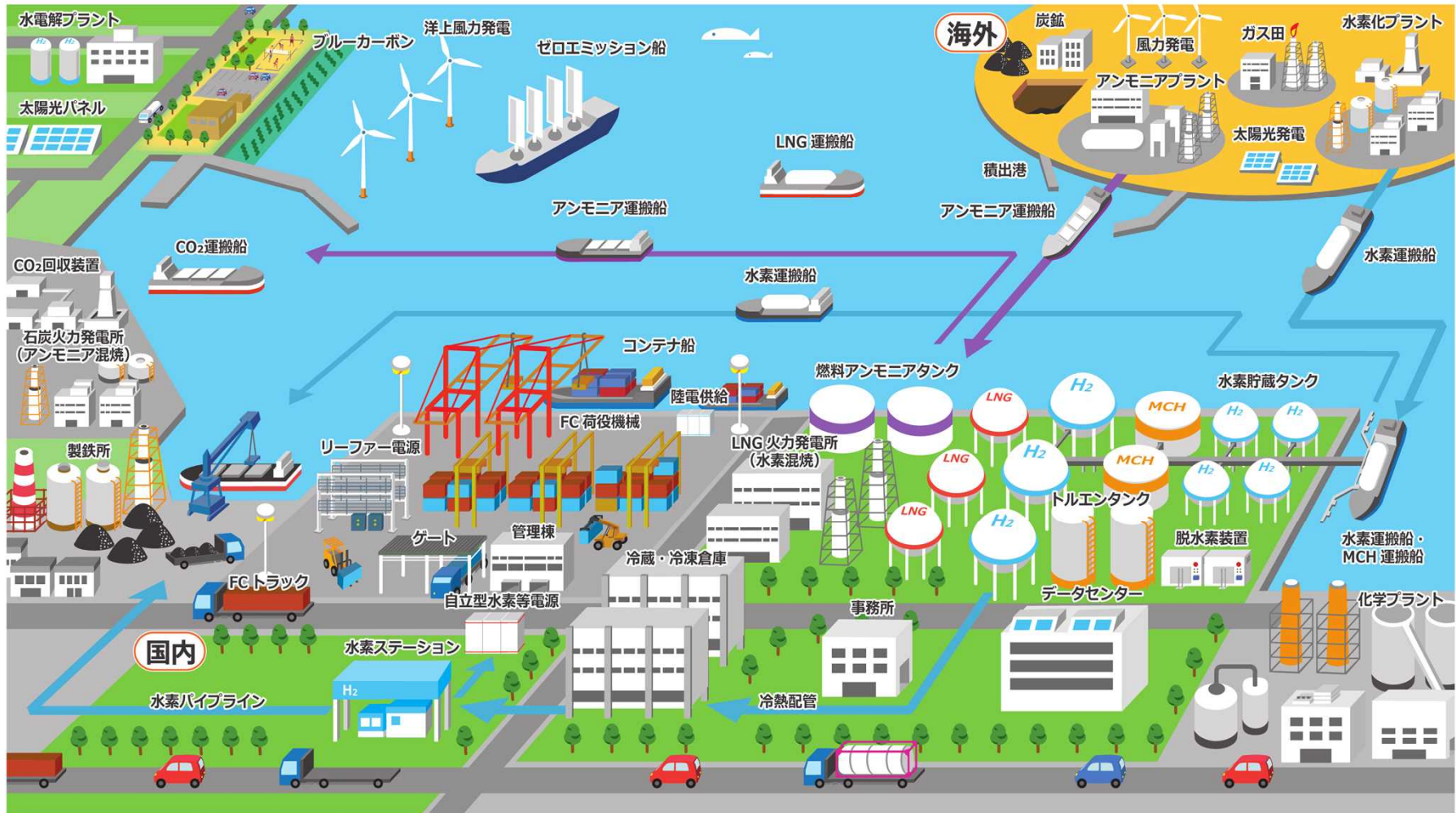
(参考) 第1回資料 2-31、2-32、2-33、3-10、7-1

1. 地域産業の競争力強化につながる海上物流基盤の強化④

【実現に向けた取組み: ④脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化】

④-1. 国や企業との連携によるエネルギー施策を促進

カーボンニュートラルポートの形成イメージ



4. 2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考) 第1回資料 2-10、2-14、2-31、3-19、7-5、7-14

II. 浚渫土砂等の海面処分場と産業用地の確保①

【現状と問題点】

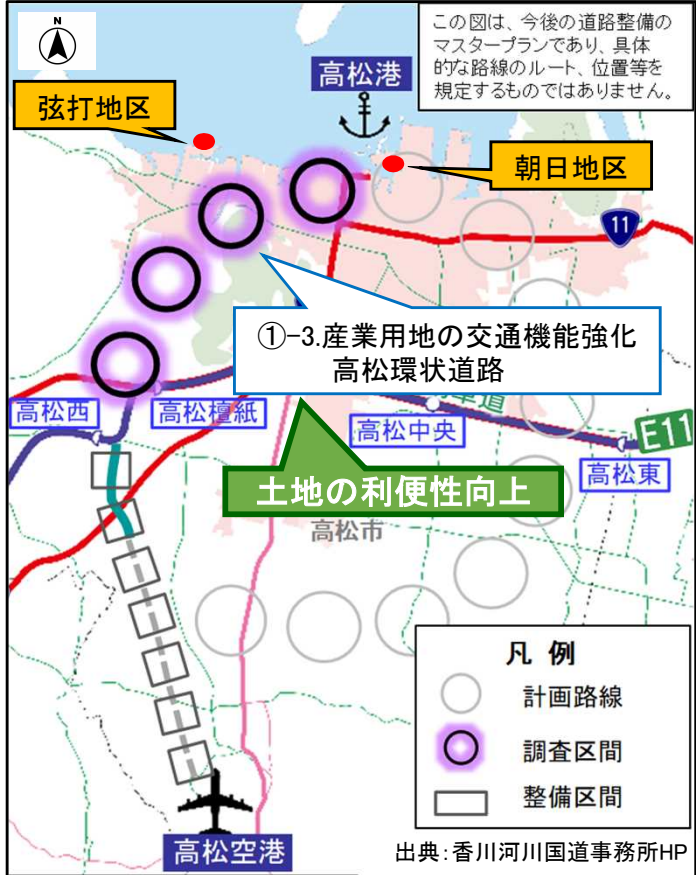
- ・公的処分場の必要容量は、年間12万m³(浚渫土:5万m³、建設残土:3.7万m³、安定型産業廃棄物:3.2万m³)を見込んでいるが、県内の海面処分場での受入れは概ね完了している。
- ・海運の利便性の高い臨海部に、売却可能なまとまった官有地がない。

【要請と課題】

- ・浚渫土砂等の海面処分場の確保
- ・産業用地の確保と産業用地に対する交通機能強化

【実現に向けた取組み:①海面処分場の設置と産業用地の確保】

①-1.短期的な海面処分場の設置と産業用地の確保 ①-2.長期的な海面処分場の設置と産業用地の確保 ①-3.産業用地に対する交通機能強化



4. 高松港長期構想(素案) 【交流・賑わい】海陸交通の要衝、快適で人々を惹きつける港

4.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

Ⅲ. フェリーターミナルの安全・快適性の確保①

(参考) 第1回資料 2-11、2-25、2-31、3-13、7-1、7-7

【現状と問題点】

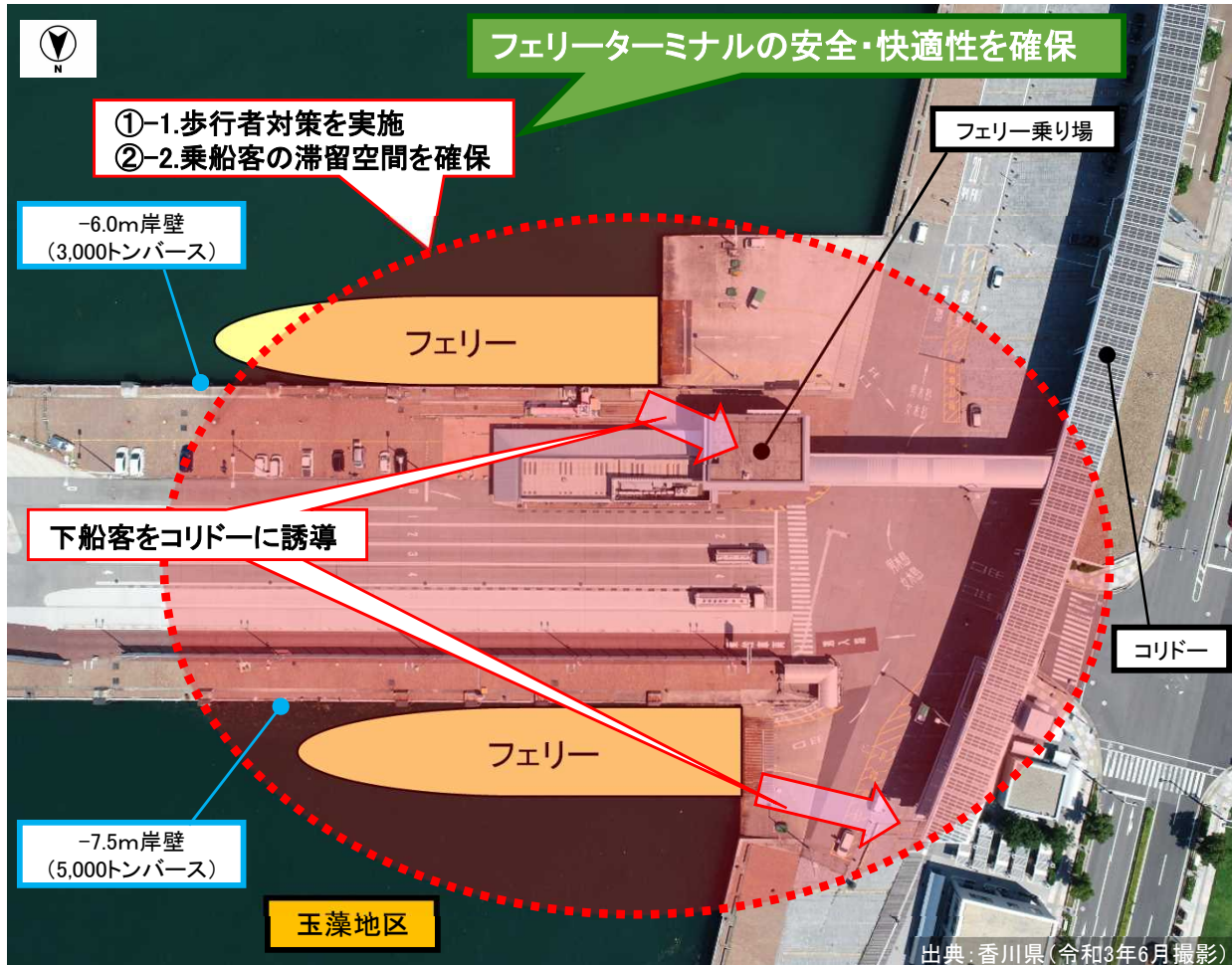
- ・歩行者動線としてコリドーが有効活用できていない。
- ・フェリー乗り場入り口で交通の輻輳が発生している。
- ・フェリー乗船客の待合空間が不足している(瀬戸内国際芸術祭開催時など繁盛期)。

【要請と課題】

- ・歩行者動線としてコリドーの活用
- ・フェリー乗り場入り口付近での安全性の確保
- ・乗船客の待合空間の確保

【実現に向けた取組み: ①中央突堤の歩行者・自動車動線の整理と空間の確保】

- ①-1. 歩行者対策を実施(下船客をコリドーへ誘導)
- ①-2. 乗船客の滞留空間を確保



4. 高松港長期構想(素案) 【交流・賑わい】海陸交通の要衝、快適で人々を惹きつける港

4. 2 長期構想実現に向けた取り組みイメージ

(参考) 第1回資料 2-11、2-25、2-31、2-34、3-15、3-16、7-1、7-7

Ⅲ. フェリーターミナルの安全・快適性の確保②

【現状と問題点】

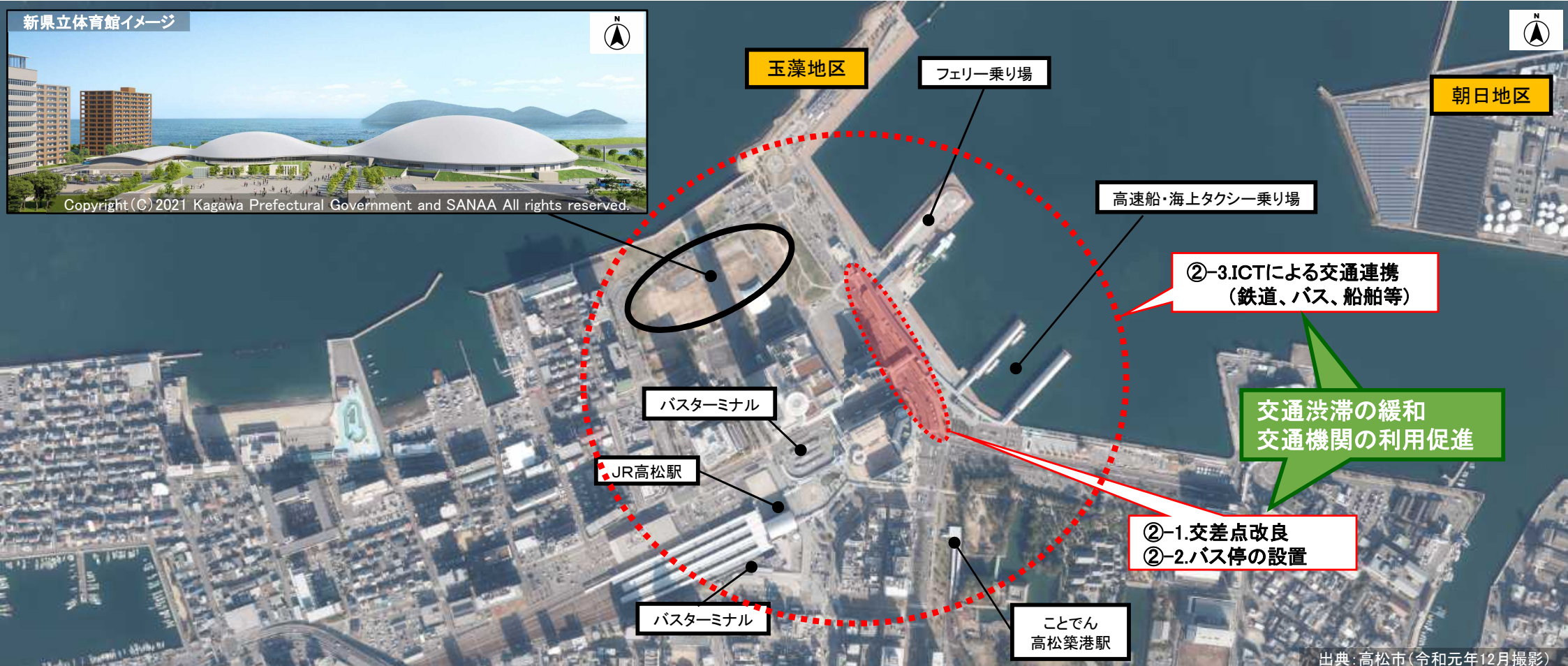
- ・新県立体育館での大規模イベント時、渋滞発生が懸念される。
- ・交通結節点として複数の交通機関が集積しているが、相互の情報伝達が出来ておらず、接続性が劣る。

【要請と課題】

- ・渋滞緩和対策
- ・公共交通の利用を促すため、情報技術を活用した交通機関のシームレス化を図る。

【実現に向けた取り組み:②玉藻地区における交通渋滞対策と交通機関の連携】

②-1.交差点改良 ②-2.フェリー乗り場付近へのバス停の設置 ②-3.ICTによる交通機関の連携(実施中)



4. 高松港長期構想(素案) 【交流・賑わい】海陸交通の要衝、快適で人々を惹きつける港

4.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考)第1回資料 2-12、2-17、2-20、2-24、2-31、3-14、3-15、7-1、7-8

IV. 既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出①

【現状と問題点】

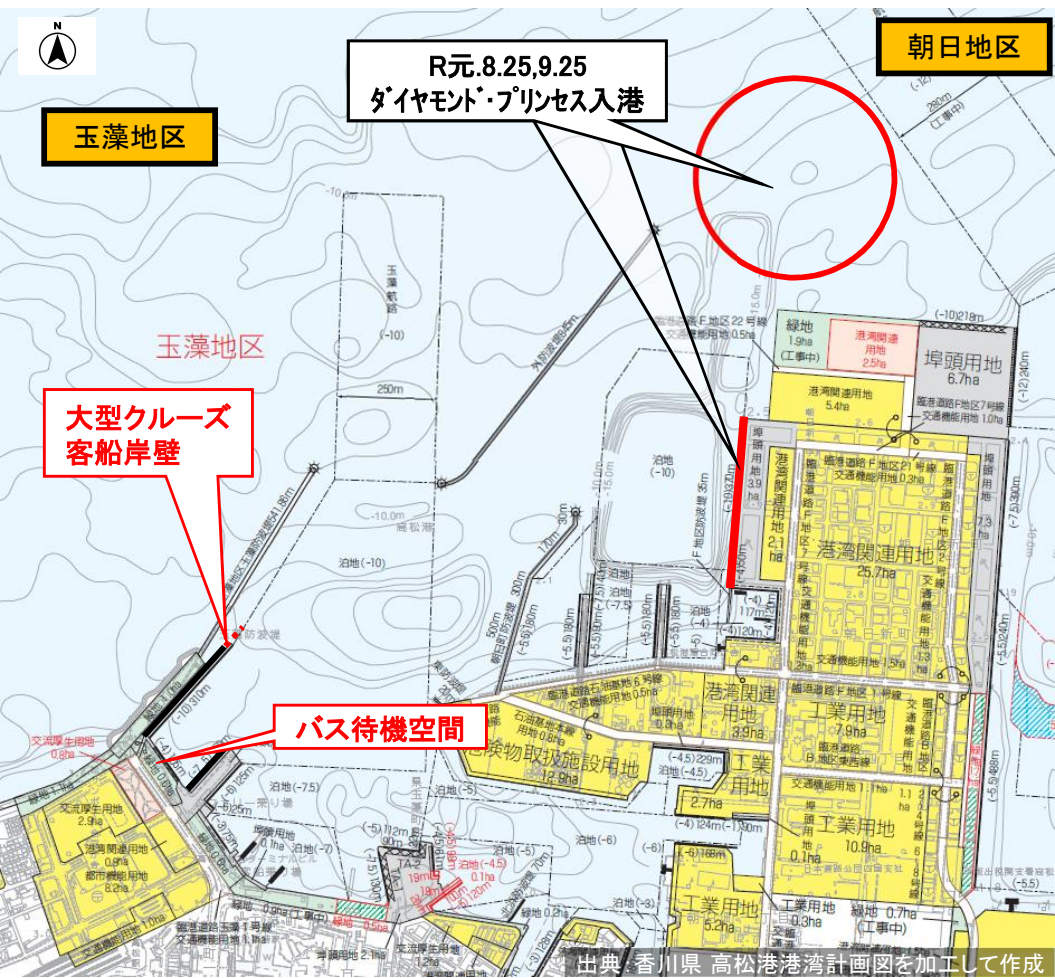
・玉藻地区の客船岸壁では、5万トン級までのクルーズ客船の受入れしか対応できない。

【要請と課題】

- ・大型クルーズ客船への対応
- ・寄港地観光バス待機空間の不足

【実現に向けた取組み:①玉藻地区におけるクルーズ客船受入れ機能の強化】

- ①-1.岸壁の延伸、浚渫により、11万トン級に対応
- ①-2.既存施設を寄港地観光バス待機空間として活用



出典:高松市(令和元年12月撮影)

出典:香川県(令和元年11月5日撮影)マースダム5.5万トン

4. 高松港長期構想(素案) 【交流・賑わい】海陸交通の要衝、快適で人々を惹きつける港

4. 2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考)第1回資料 2-11、2-25、2-29、2-31、3-14、3-15、3-16、7-1、7-7、7-10

IV. 既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出②

【現状と問題点】

- ・中央埠頭に賑わいがなく、賑わい空間が分断されている。
- ・新県立体育館建設に伴い、玉藻地区の賑わい・交流拠点の1つとして利用されていた広場が縮小される。

【要請と課題】

- ・中央埠頭の賑わい・交流拠点の創出
- ・玉藻地区における広場の確保

【実現に向けた取組み:②ウォータフロントの賑わい空間を構築】

②-1.民間活力を導入した中央埠頭地区の再生 ②-2.キャッスルプロムナードに多目的利用が可能な広場を確保



4. 高松港長期構想(素案) 【交流・賑わい】海陸交通の要衝、快適で人々を惹きつける港

4.2 長期構想実現に向けた取り組みイメージ

IV. 既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出③

(参考)第1回資料 2-11、2-12、2-24、2-25、2-31、2-34、3-13、3-14、3-15

【現状と問題点】

- ・様々な交通モードの連携不足のため、旅行者等が自由に移動する妨げとなっている。
- ・滞在コンテンツの情報を得るためには、様々な情報ツールを駆使する必要がある。

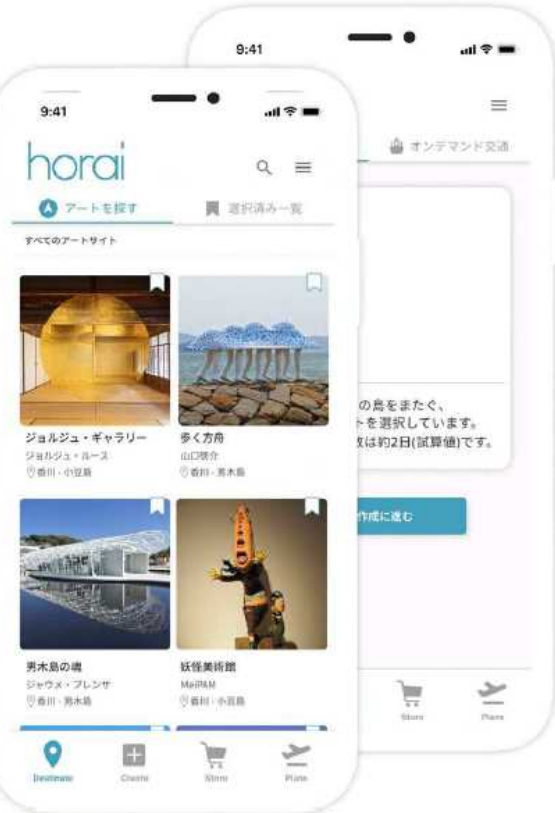
【要請と課題】

- ・アプリによるマルチモーダルな公共交通機関の一括した検索、予約、決済サービスの提供
- ・アプリによる商業施設、飲食店、観光地等の滞在コンテンツの情報提供

【実現に向けた取り組み:③MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現】

③-1.検索、予約、決済サービスを一元化したアプリとデータ利活用基盤の構築【利用者の利便性向上】(実施中)

【イメージ(事例)】



最適な旅程を提案!

空 飛行機の出発・到着時間、空港、便

陸 バス・鉄道の種類・便や徒歩の時間

海 海上タクシー・定期船の乗り場・出発時間

- アートスポットの巡る順番
- 滞在/宿泊日数

2020-02-18

飛行機

7:45 東京(羽田) >

Japan Airlines
Boeing 767 Passenger

9:15 高松空港 >

▲ 高松空港

9:15 高松空港 >

12:45 高松空港 >

連絡バス・こでんバス・空港リムジンバス・高松駅行

12:45 高松空港(高速・連絡バス) >

15:30 高松駅(高速・連絡バス) >

徒歩

保存する 予約する

2020-02-18

▲ 雄雄島海運・めおん2

14:00 高松港

14:40 男木港

▲ 男木島

14:40 男木島 >

男木島の魂

男木島 uallalle

16:54 男木島 >

徒歩

16:54 出発地

保存する 予約する

2020-02-19

▲ 直島

11:10 宮浦港高速船・旅客船乗り場 >

ANDO MUSEUM

12:59 宮浦港高速船・旅客船乗り場 >

海上タクシー

12:59 宮浦港高速船・旅客船乗り場 >

>> ¥2800

13:39 土庄港2号浮桟橋 >

▲ 小豆島

保存する 予約する

4. 高松港長期構想(素案) 【交流・賑わい】海陸交通の要衝、快適で人々を惹きつける港

4.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

IV. 既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出③

(参考) 第1回資料 2-5、2-6、2-11、2-12、2-24、2-25、2-31、2-34、3-13、3-14、3-15

【現状と問題点】

- ・人手不足で弾力的な労働力調整が困難である。
- ・観光需要の繁忙期と閑散期で必要な受入体制に差がある。

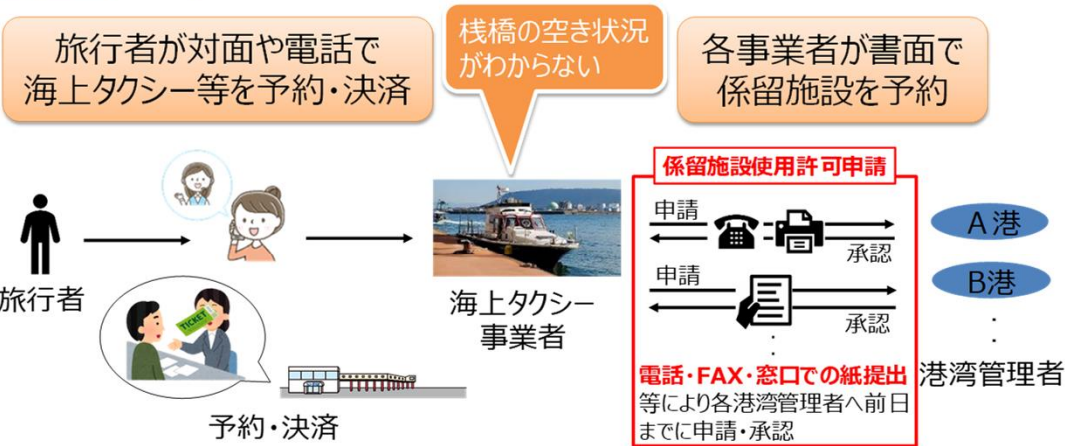
【要請と課題】

- ・DXやシステムの電子化による人のオペレーションと業務の改善

【実現に向けた取組み: ③MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現】

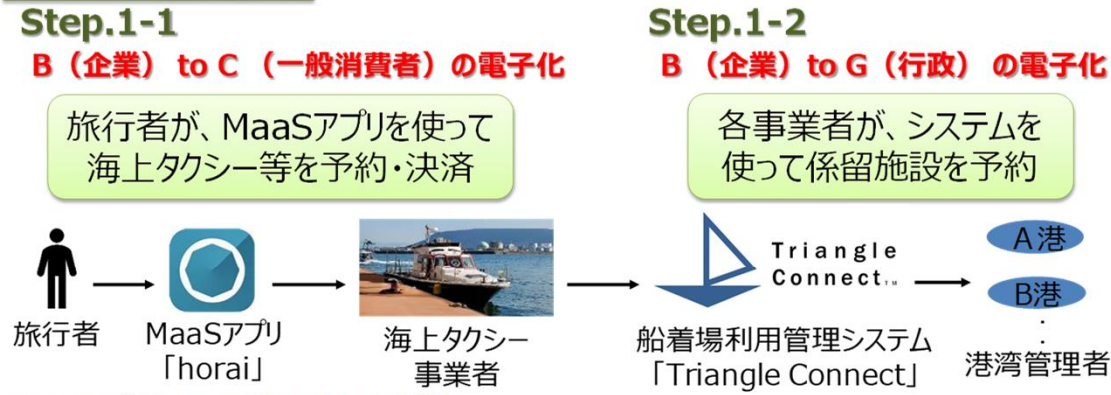
③-1. 検索、予約、決済サービスを一元化したアプリとデータ活用基盤の構築【管理者・事業者の業務効率化】(実施中)

現在 Step.0



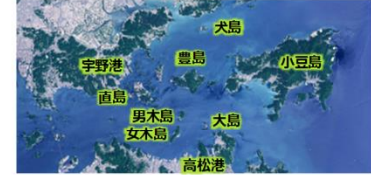
現在(実験段階)

【イメージ(事例)】



MaaSアプリ「horai」(H31年から実装)

移動手段の検討等の手間を無くし、効率的な旅程を実現する他、海上タクシーの手配・決済が可能な個人旅行者向け観光アプリ (scheme verge(株)開発)。

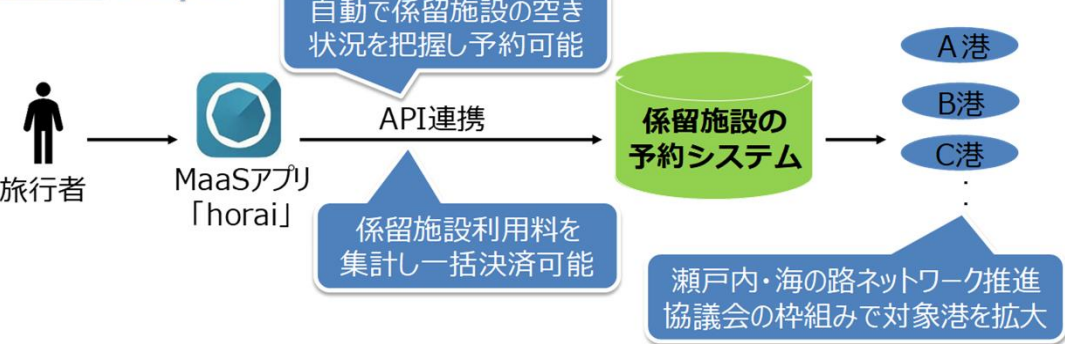


「horai」で利用できる海上タクシーが対応する島 出典：国土地理院

【R3年実証実験における検証内容】

- ① 港湾管理者が使いやすいシステム要件 (パスウィンドウ形式の予約画面の使いやすさ等)
- ② 係留施設の予約システムとMaaSアプリとの連携方策 (海上タクシー事業者が行っている作業をどのように自動化するか等)
- ③ その他システムの導入にあたっての留意点 (港湾管理者がどのように利用承認を行うか等)

将来 Step.2



さらに将来 Step.3

- 宿泊施設や交通手段 (鉄道・バス・レンタサイクル等) の予約など、様々なサービスとの連動
- 収集したデータに基づく瀬戸内の人流・滞在パターン分析
- 係留施設の需要変動に対応した変動料金の設定
- 他地域に応用可能なサービスプラットフォームの開発・整備

4. 高松港長期構想(素案) 【交流・賑わい】海陸交通の要衝、快適で人々を惹きつける港

4.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考)第1回資料 2-6、2-11、2-12、2-24、2-25、2-31、2-34、3-13、3-14、3-15

IV. 既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出③

【実現に向けた取組み:③MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現】

③-2.MaaSによる交通連携とデータ利活用によるサービス改善【対応地域の体験価値向上】(実施中)

収集したデータに基づく瀬戸内の人流・滞在パターンの分析

↓

- ・ユーザーの興味関心に合わせて店舗情報の配信
- ・必要箇所へのバス路線等の開設
- ・人の滞留箇所での店舗開設

など、**継続的なサービスの改善**



4. 高松港長期構想(素案) 【交流・賑わい】海陸交通の要衝、快適で人々を惹きつける港

4. 2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考)第1回資料 2-31、3-1、3-7、7-1、7-9

IV. 既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出④

【現状と問題点】

・賑わい空間やフェリーからの風景に、石油基地など産業施設がある。

【要請と課題】

・エリアの魅力を高めるため、景観面での検討が必要

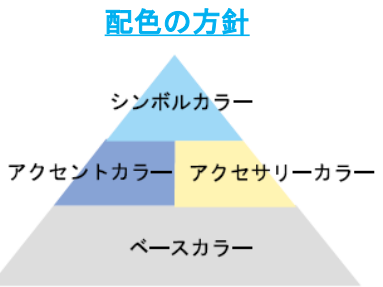
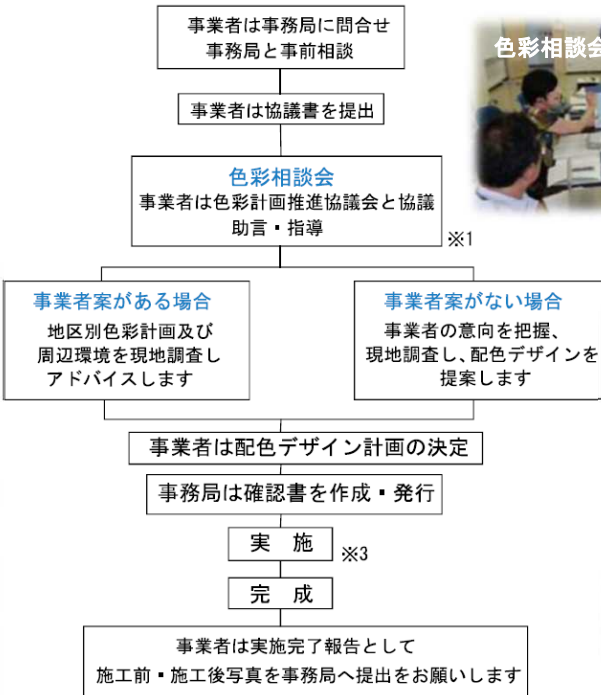
【実現に向けた取組み:④賑わいエリアからの景観向上】

④-1.企業との協働によるみなと色彩計画の策定



出典:香川県(令和3年2月撮影)

【参考事例】清水港における色彩計画の取組み



出典:清水港・みなと色彩計画資料を加工して作成

4. 2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考) 第1回資料 2-31、3-17、7-1、7-11

IV. 既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出⑤

【現状と問題点】

・ヨットハーバー等の静穏度が低く、海面が有効に利活用できていない。

【要請と課題】

・静穏度確保による海面の利活用

【実現に向けた取組み: ⑤船溜まりの静穏度確保】

⑤-1. 船溜まりの前面に防波堤の設置



出典: 香川県(令和2年5月撮影)



出典: 香川県(令和2年5月撮影)

4. 高松港長期構想(素案) 【安全・安心】災害時の市民生活や企業活動を支える港

4.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

V. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保①

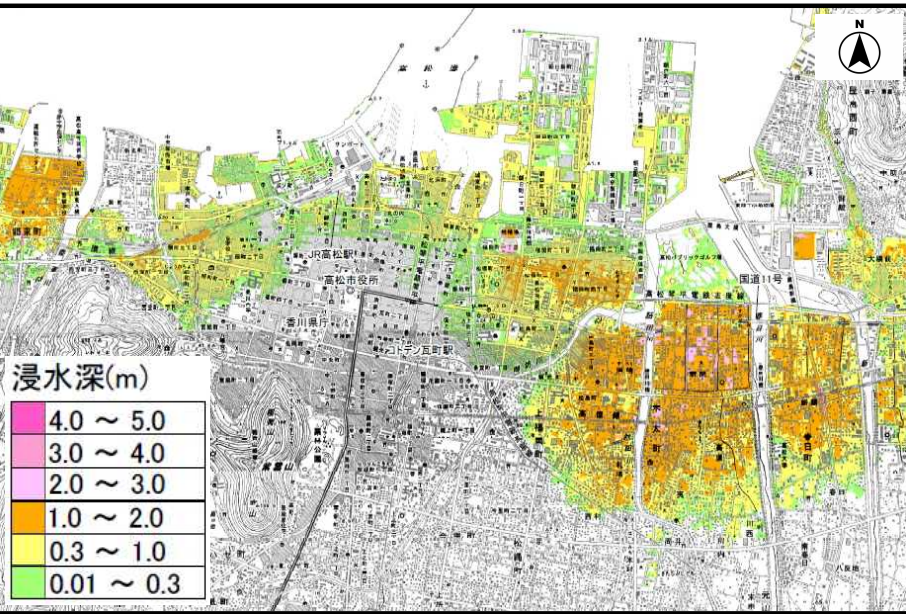
【現状と問題点】

- ・南海トラフ地震が30年以内に70～80%の確率で発生する見込みである。
- ・平成16年8月の台風16号による高潮で県下沿岸部に被害が発生している。

【実現に向けた取組み:①計画的な地震・津波対策等の実施】

①-1.香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画の推進(実施中)

■被害想定事例



出典:香川県津波浸水想定図を加工して作成(最大クラスの地震 高松市②)

【参考】東北地方太平洋沖地震による津波



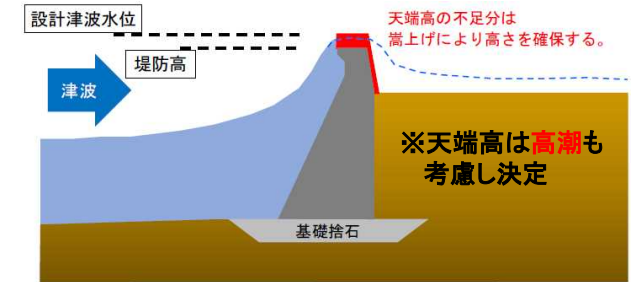
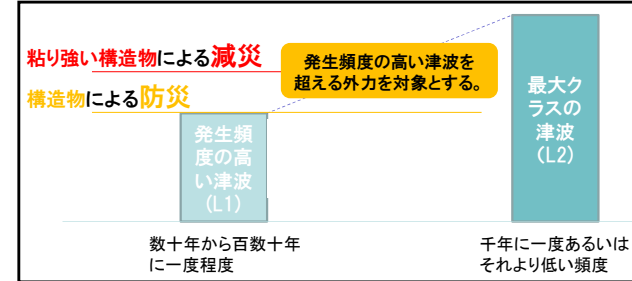
出典:普代村

H16.8台風16号の高潮による冠水状況

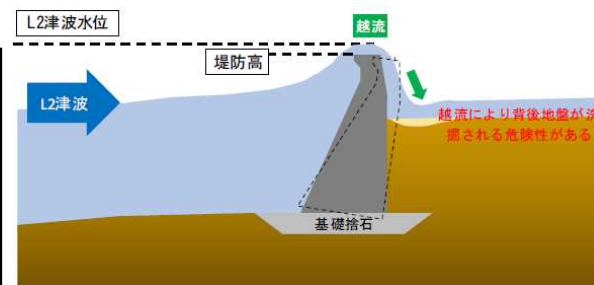


出典:香川県HP

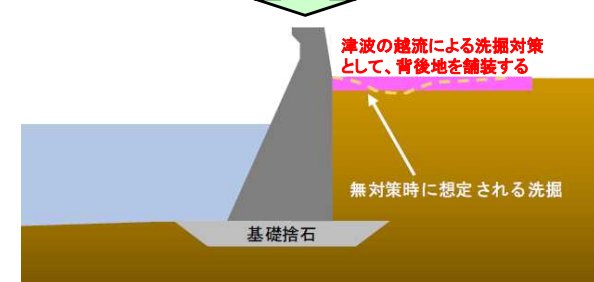
■対策方法の考え方



海岸堤防の対策例(高潮及び発生頻度の高い津波(L1))



津波来襲時の危険性(最大クラスの津波(L2))



粘り強い構造の方向性(最大クラスの津波(L2))

■対策事例



出典:香川県



出典:香川県



出典:香川県

(参考)第1回資料 2-26、2-27、2-28、2-29、2-31、3-4、3-5、3-7、3-18、3-19、3-20、7-12

【要請と課題】

- ・港湾海岸施設における地震・津波・高潮対策の早期完成

4. 2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考)第1回資料 2-26、2-27、2-28、2-31、3-4、7-12

V. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保②

【現状と問題点】

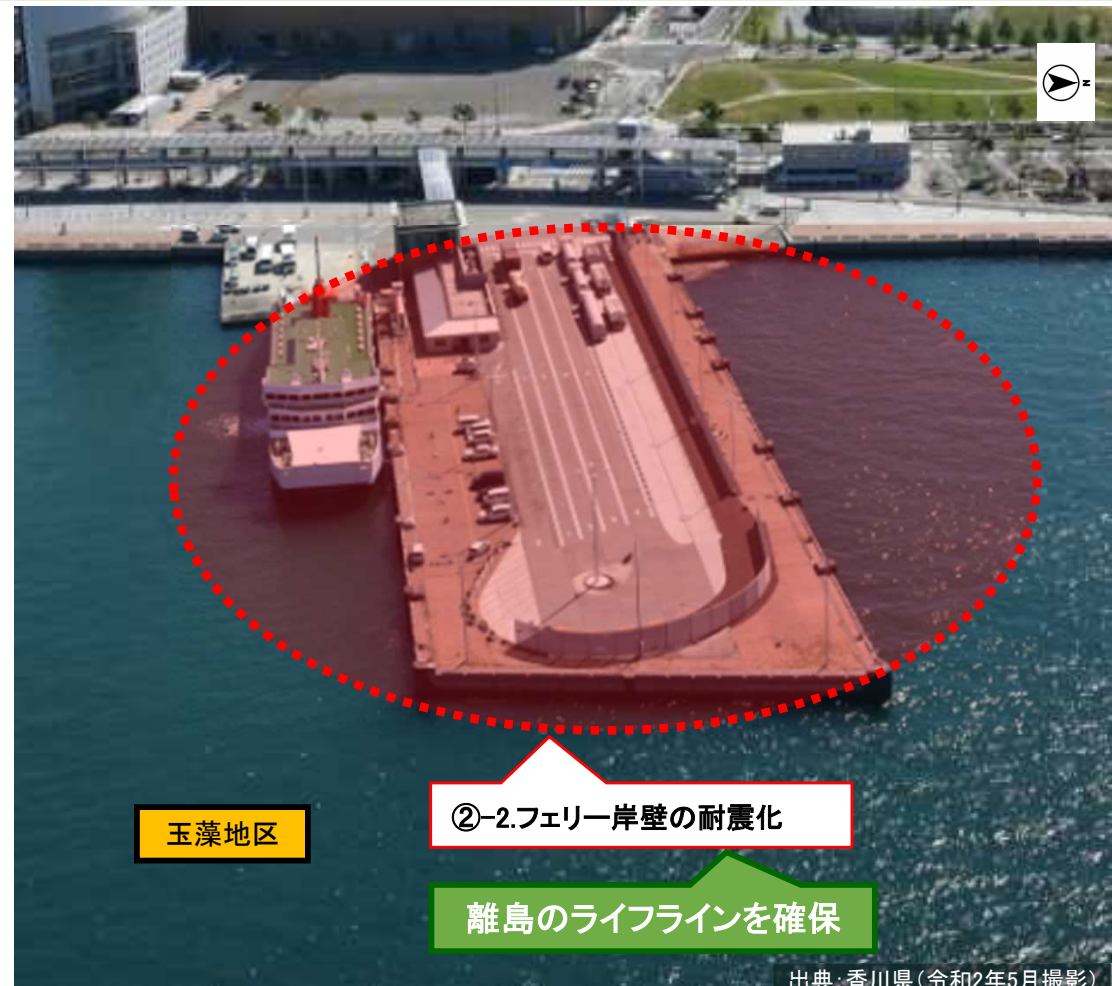
・大規模災害時における人員及び緊急物資等の輸送活動や企業物流継続活動の面で有用性の高いフェリー航路において、耐震強化岸壁がない。

【要請と課題】

・大規模災害発生時における継続的なフェリー航路の確保

【実現に向けた取組み:②フェリー岸壁の耐震化の実施】

- ②-1.高松神戸航路のフェリー岸壁を耐震化(実施中)
- ②-2.離島航路のフェリー岸壁を耐震化



4. 高松港長期構想(素案) 【安全・安心】災害時の市民生活や企業活動を支える港

4.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

V. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保③

(参考)第1回資料 2-26、2-27、2-28、2-29、2-31、3-4、3-5、3-7、3-18、3-19、3-20、7-12

【現状と問題点】

・昨今の港湾を取り巻く環境は、自然災害の頻発化・激甚化、新型コロナウイルスの感染症拡大など様々なリスクが懸念されている。

【要請と課題】

・港湾BCPについて、「港湾の事業継続計画策定ガイドライン」の改訂に基づき、従来の地震・津波対応に加え、台風等への直前予防対応や感染症対応等を踏まえた充実が必要

【実現に向けた取組み:③高松港BCPの充実】

③-1. 「台風等による高潮・高波・暴風等への対応」、「津波の来襲に対し船舶側を含めた対応」、「感染症への対応」

「港湾の事業継続計画策定ガイドライン」の主な改訂内容

■ 台風等による高潮・高波・暴風等への対応を位置づけ(直前予防対応)

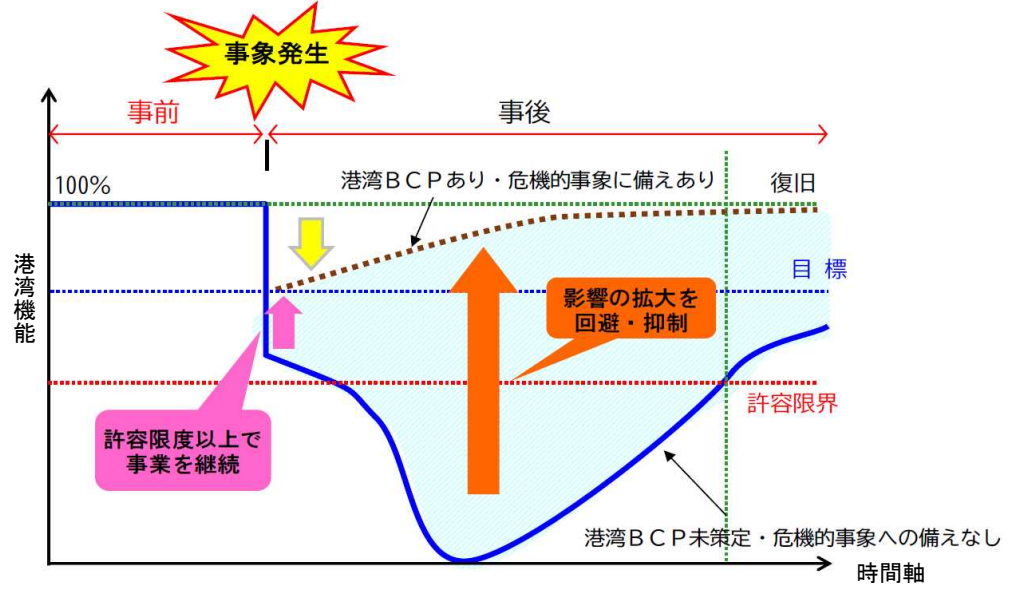


■ 船舶側の視点からの津波対応を位置づけ

- ① 沖合退避の迅速化
- ② 係留避泊の安全性向上
- ③ 船の衝突・乗揚げの抑制



■ 感染症への対応を位置づけ(感染症BCPの概念)



出典:国土交通省資料を加工して作成

4. 高松港長期構想(素案) 【安全・安心】災害時の市民生活や企業活動を支える港

4.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考) 第1回資料 2-7、2-31、3-19、3-20、7-13、7-14

Ⅵ. スtockマネジメントの推進①②

【現状と問題点】

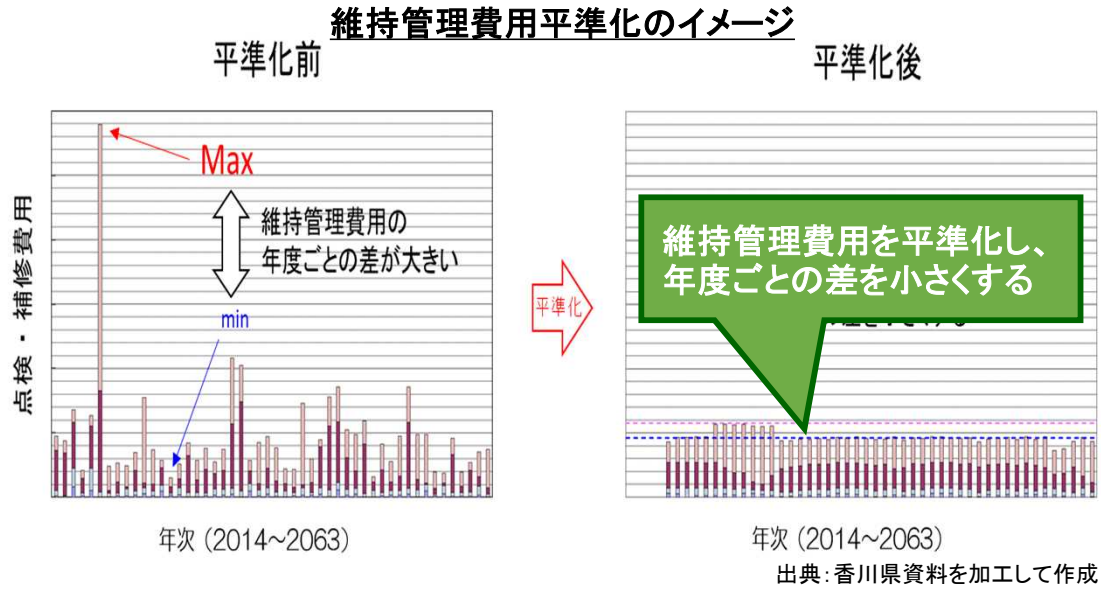
・老朽化した施設が急激に増加する一方、維持管理、更新・修繕に充当できる財源には限りがある。

【要請と課題】

・維持修繕費用の平準化とコストの縮減

【実現に向けた取組み: ①計画的な点検、補修の実施、②施設の廃止・利用転換】

- ①-1. 予防保全計画に基づく計画的な点検、補修、長寿命化施設工事の実施(実施中)
- ②-1. 老朽化や利用状況、社会情勢の変化に応じた施設の廃止・利用転換



老朽化や利用状況等に応じた施設の廃止・利用転換のイメージ

公共埠頭計画 (廃止)

危険物取扱施設用地

泊地 (廃止)

工業用地

既存岸壁の老朽化状況

出典: 香川県

朝日地区

②-1. 利用が少なく老朽化した既存岸壁等の廃止。

維持管理費の削減

出典: 香川県 (令和2年5月撮影)



4. 高松港長期構想(素案)

4.3 長期構想実現に向けた取組みとスケジュール

実現に向けた取組みの内容		スケジュール		
		短期(10年)	中期(20年)	長期(30年)
物流・産業	I. 地域産業の競争力強化につながる海上物流基盤の強化			
	① 国際物流ターミナルの外貨機能強化			
	①-1.コンテナターミナルの拡張、岸壁増深等(一部実施中)	■	■	■
	①-2.コンテナターミナルの情報化技術の導入	■	■	■
	①-3.-12m岸壁の延伸	■		
	①-4.倉庫用地の確保	■		
	② 高松神戸航路の物流機能強化			
	②-1.岸壁の新設(実施中)	■		
	②-2.待機スペースの拡張(実施中)	■		
	③ 臨海部を円滑に結ぶ幹線道路の整備			
	③-1.踏切改良の実施(高松市)	■		
	③-2.課題解決に向けた対応策の検討と実施(琴電連立検討委員会で検討中)	■	■	■
	④ 脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化			
	④-1.国や企業との連携によるエネルギー施策を促進	■	■	■
	II. 浚渫土砂等の海面処分場と産業用地の確保			
① 海面処分場の設置と産業用地の確保				
①-1.短期的な海面処分場の設置と産業用地の確保	■			
①-2.長期的な海面処分場の設置と産業用地の確保		■	■	
①-3.産業用地に対する交通機能強化	■	■	■	

4. 高松港長期構想(素案)

4.3 長期構想実現に向けた取組みとスケジュール

実現に向けた取組みの内容		スケジュール		
		短期(10年)	中期(20年)	長期(30年)
交流・賑わい	Ⅲ. フェリーターミナルの安全・快適性の確保			
	① 中央突堤の歩行者・自動車動線の整理と空間の確保			
	①-1. 歩行者対策を実施(下船客をコリドーへ誘導)			
	①-2. 乗船客の滞留空間を確保			
	② 玉藻地区における交通渋滞対策と交通機関の連携			
	②-1. 交差点改良			
	②-2. フェリー乗り場付近へのバス停の設置			
	②-3. ICTによる交通機関の連携(実施中)			
	Ⅳ. 既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出			
	① 玉藻地区におけるクルーズ客船受入れ機能の強化			
	①-1. 岸壁の延伸、浚渫により、11万トン級に対応			
	①-2. 既存施設を寄港地観光バス待機空間として活用			
	② ウォーターフロントの賑わい空間を構築			
	②-1. 民間活力を導入した中央埠頭地区の再生			
	②-2. キャッスルプロムナードに多目的利用が可能な広場を確保			
③ MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現				
③-1. 検索、予約、決済サービスを一元化したアプリとデータ利活用基盤の構築(実施中)				
③-2. MaaSによる交通連携とデータ利活用によるサービス改善(実施中)				

4. 高松港長期構想(素案)

4.3 長期構想実現に向けた取組みとスケジュール

実現に向けた取組みの内容		スケジュール		
		短期(10年)	中期(20年)	長期(30年)
交流・賑わい	IV. 既存施設の再構築とみなとまちの賑わい創出			
	④ 賑わいエリアからの景観向上			
	④-1.企業との協働によるみなと色彩計画の策定	■	---	---
	⑤ 船溜まりの静穏度確保			
	⑤-1.船溜まりの前面に防波堤の設置		■	■
安全・安心	V. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保			
	① 計画的な地震・津波対策等の実施			
	①-1.香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画の推進(実施中)	■	■	
	② フェリー岸壁の耐震化の実施			
	②-1.高松神戸航路のフェリー岸壁を耐震化(実施中)	■		
	②-2.離島航路のフェリー岸壁を耐震化	■		
	③ 高松港BCPの充実			
	③-1.「台風等による高潮・高波・暴風等への対応」、「津波の来襲に対し船舶側を含めた対応」、「感染症への対応」	■	---	---
	VI. スtockマネジメントの推進			
	① 計画的な点検、補修の実施			
①-1.予防保全計画に基づく計画的な点検、補修、長寿命化施設工事の実施(実施中)	■	■	■	
② 施設の廃止・利用転換				
②-1.老朽化や利用状況、社会情勢の変化に応じた施設の廃止・利用転換	■	■	■	

4. 高松港長期構想(素案)

4.4 港湾利用ゾーニング

- 緑地レクリエーションゾーン
- 生産・物流関連ゾーン
- 交流拠点・人流関連ゾーン
- 物流関連・生産ゾーン

生産・物流関連ゾーン

II-① 海面処分場の設置と産業用地の確保

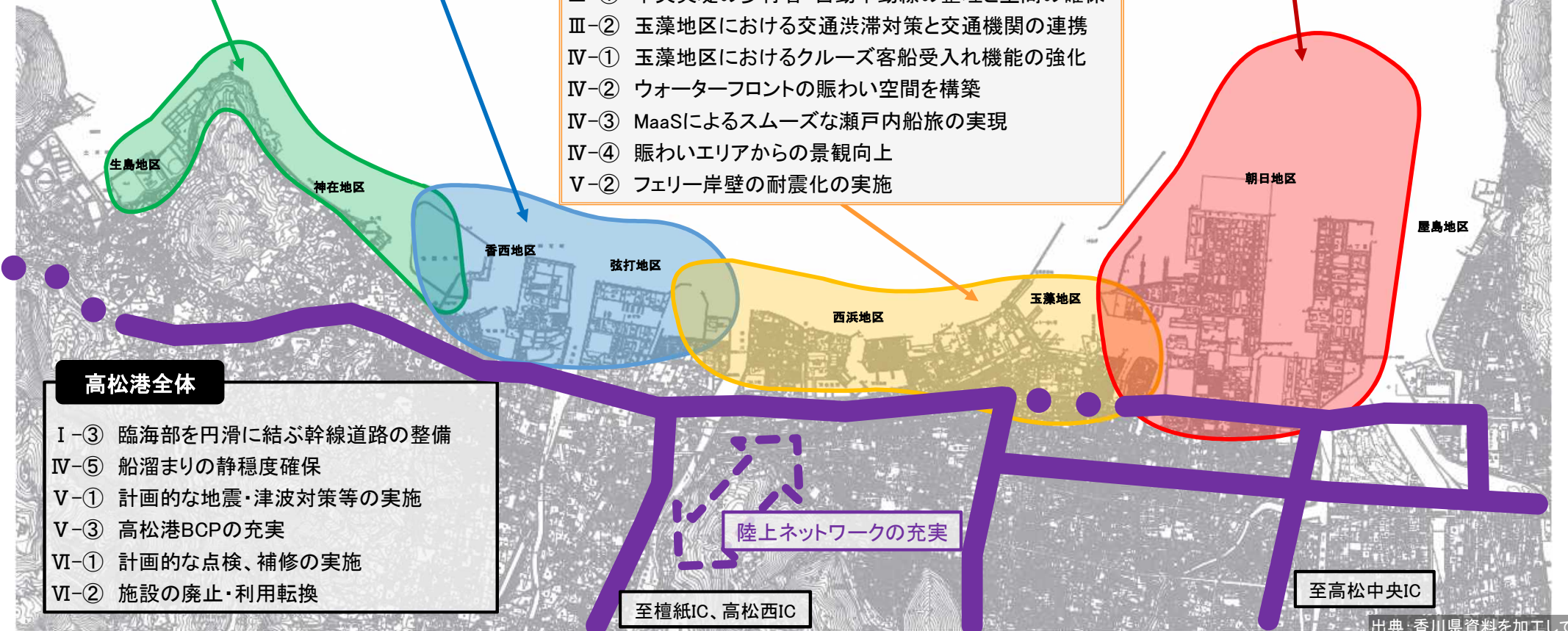
緑地レクリエーションゾーン

交流拠点・人流関連ゾーン

- III-① 中央突堤の歩行者・自動車動線の整理と空間の確保
- III-② 玉藻地区における交通渋滞対策と交通機関の連携
- IV-① 玉藻地区におけるクルーズ客船受入れ機能の強化
- IV-② ウォーターフロントの賑わい空間を構築
- IV-③ MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現
- IV-④ 賑わいエリアからの景観向上
- V-② フェリー岸壁の耐震化の実施

物流関連・生産ゾーン

- I-① 国際物流ターミナルの外貿機能強化
- I-② 高松神戸航路の物流機能強化
- I-④ 脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化
- V-② フェリー岸壁の耐震化の実施



高松港全体

- I-③ 臨海部を円滑に結ぶ幹線道路の整備
- IV-⑤ 船溜まりの静穏度確保
- V-① 計画的な地震・津波対策等の実施
- V-③ 高松港BCPの充実
- VI-① 計画的な点検・補修の実施
- VI-② 施設の廃止・利用転換

陸上ネットワークの充実

至檀紙IC、高松西IC

至高松中央IC

■ 5. 坂出港長期構想（素案）

- 5. 1 坂出港が目指すべき方向性 5- 1
- 5. 2 長期構想実現に向けた取組みイメージ 5- 4
- 5. 3 長期構想実現に向けた取組みとスケジュール 5-17
- 5. 4 港湾利用ゾーニング 5-19

5. 坂出港長期構想(素案)

5.1 坂出港が目指すべき方向性

坂出港が果たす役割

【物流・産業】

背後企業の成長を支え、
競争力・利便性の高い港

【交流・賑わい】

市民が集い、観光客を
呼び込む魅力ある港

【安全・安心】

災害時の市民生活や
企業活動を支える港



【目指すべき方向性】

I. 浚渫土砂等の海面処分場と産業用地の確保

【物流・産業】

II. 物流・生産・エネルギー拠点としての港湾機能の強化と再編

【物流・産業】

III. 陸上交通網を活かした貨物の集荷と海上輸送手段の確保

【物流・交流】

IV. みなとを活かした賑わい・交流拠点の創出

【交流・賑わい】

V. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保

【安全・安心】

VI. スtockマネジメントの推進

【安全・安心】

5. 坂出港長期構想(素案)

5.1 坂出港が目指すべき方向性

坂出港が目指すべき方向性と上位計画・関連計画における港湾関連施策を整理したものを示す。

役割	目指すべき方向性	上位計画・関連計画(代表例)	
		計画名	計画内容
物流産業	Ⅰ. 浚渫土砂等の海面処分場と産業用地の確保	【県】 ・香川県次期総合計画「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画(仮称)(素案)	・企業立地の促進と産業基盤の強化
		【市】 ・坂出ニューポートプラン	・臨海部を有効活用した港湾空間の機能向上
	Ⅱ. 物流・生産・エネルギー拠点としての港湾機能の強化と再編	【国】 ・PORT 2030 ・四国港湾ビジョン2040	・グローバルバリューチェーンを支える海上輸送網の構築 ・情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靱化 ・コンテナ船やバルク船等の大型化等に対応した港湾整備による物流効率化 ・港湾・物流活動のグリーン化～CO2排出源・吸収源対策～
		【県】 ・香川県次期総合計画「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画(仮称)(素案) ・坂出都市計画区域マスタープラン	・デジタル技術を活用した地域課題の解決と産業の活性化 ・港湾物流における港湾施設の整備の推進 ・地球温暖化対策の推進
	Ⅲ. 陸上交通網を活かした貨物の集貨と海上輸送手段の確保	【市】 ・坂出市都市計画マスタープラン ・坂出市ニューポートプラン	・物流・生産拠点としての更なる港湾の機能強化に向けたふ頭の再編 ・臨海部を有効活用した港湾空間の機能向上
		【市】 ・坂出市都市計画マスタープラン ・坂出市ニューポートプラン	・港湾機能の強化、定期航路の誘致 ・新たな定期航路の誘致
交流賑わい	Ⅳ. みなとを活かした賑わい・交流拠点の創出	【国】 ・PORT 2030 ・四国港湾ビジョン2040	・情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靱化 ・パースウィンドウの予約管理システムの導入、システムとMaaSの連携促進
		【県】 ・香川県次期総合計画「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画(仮称)(素案)	・デジタル技術を活用した地域課題の解決と産業の活性化 ・行政のデジタル化の推進
		【市】 ・坂出市まちづくり基本構想 ・坂出ニューポートプラン	・情報化の推進 ・坂出港が有する資源を活用した賑わい・交流拠点の創出
安全安心	Ⅴ. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保	【国】 ・四国港湾ビジョン2040 ・四国圏広域地方計画	・ハード対策(耐震強化岸壁の整備等)とソフト対策(航路啓開等の体制強化) ・南海トラフ地震に対する安全・安心の確保
		【県】 ・香川県次期総合計画「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画(仮称)(素案)	・南海トラフ地震・津波対策の推進
	Ⅵ. ストックマネジメントの推進	【市】 ・坂出市まちづくり基本構想 ・坂出ニューポートプラン	・防災対策の強化・充実 ・四国の防災拠点港としての機能強化
		【国】 ・四国圏広域地方計画	・急速に老朽化を迎える社会インフラの維持・管理・更新
	Ⅵ. ストックマネジメントの推進	【県】 ・香川県次期総合計画「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画(仮称)(素案)	・公共土木施設の老朽化対策の推進
		【市】 ・坂出市まちづくり基本構想 ・坂出ニューポートプラン	・防災対策の強化・充実 ・四国の防災拠点港としての機能強化

5. 坂出港長期構想(素案)

5.1 坂出港が目指すべき方向性

坂出港が目指すべき方向性を踏まえ、SDGsの理念に沿って展開する長期構想実現に向けた取組みを示す。

【目指すべき方向性】

【物流・産業】

背後企業の成長を支え、競争力・利便性の高い港

I. 浚渫土砂等の海面処分場と産業用地の確保

II. 物流・生産・エネルギー拠点としての港湾機能の強化と再編

III. 陸上交通網を活かした貨物の集貨と海上輸送手段の確保

【交流・賑わい】

市民が集い、観光客を呼び込む魅力ある港

IV. みなとを活かした賑わい・交流拠点の創出

【安全・安心】

災害時の市民生活や企業活動を支える港

V. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保

VI. ストックマネジメントの推進

【実現に向けた取組み】

I ①海面処分場の設置と産業用地の確保



II ①大型船に対応した新たな大水深岸壁の確保と埠頭施設の再編



②脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化



III ①定期RORO船航路の維持、拡充



IV ①西運河地区の賑わい創出



②MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現



V ①計画的な地震・津波対策等の実施



②坂出港BCPの充実



VI ①計画的な点検、補修の実施



②施設の廃止・利用転換



5.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

1. 浚渫土砂等の海面処分場と産業用地の確保①

(参考) 第1回資料 2-10、2-14、2-31、8-1、8-5、8-11

【要請と課題】

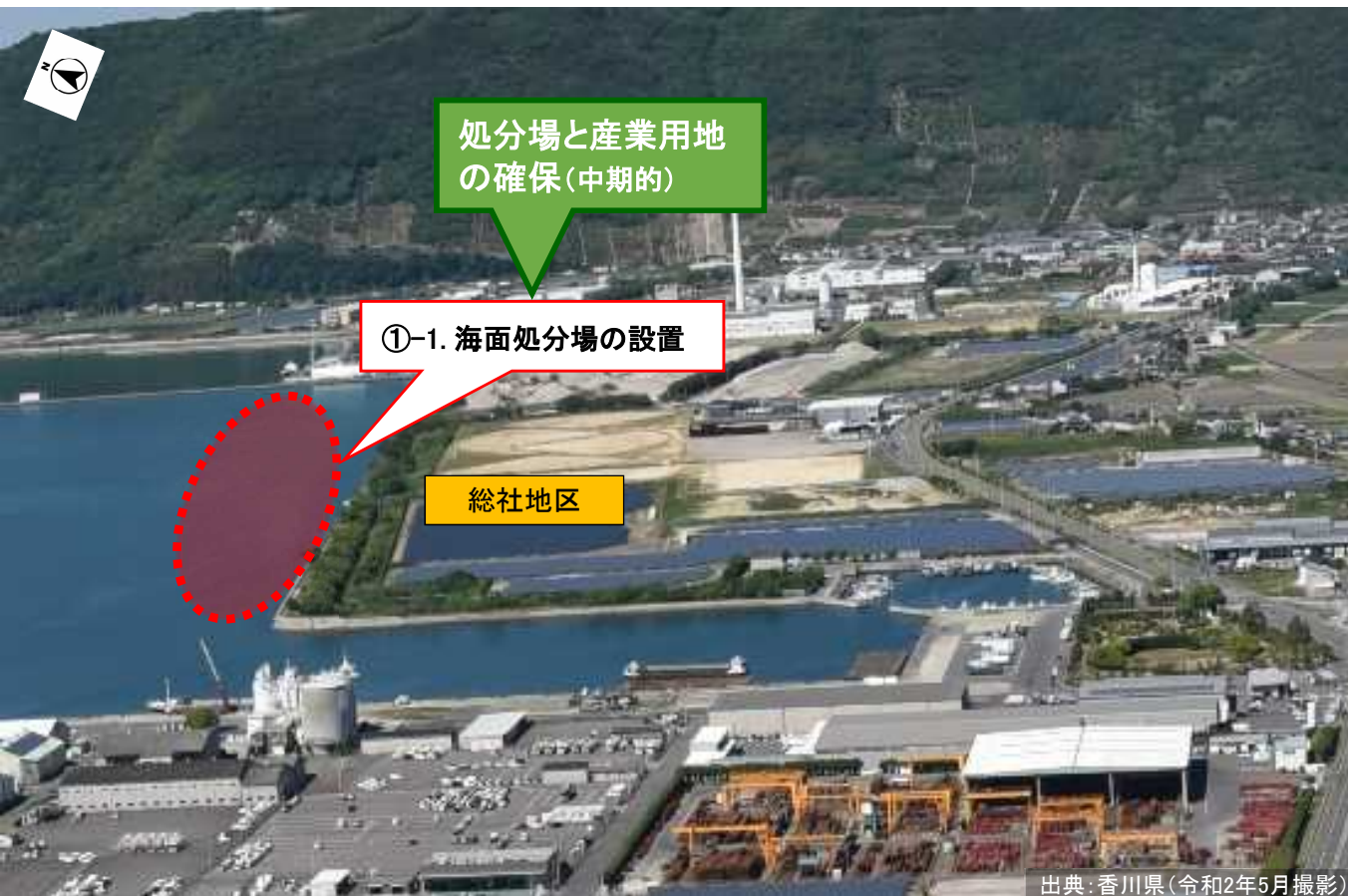
- ・浚渫土砂等の海面処分場の確保
- ・産業用地の確保と産業用地に対する交通機能強化

【現状と問題点】

- ・公的処分場の必要容量は、年間12万 m^3 (浚渫土:5万 m^3 、建設残土:3.7万 m^3 、安定型産業廃棄物:3.2万 m^3)を見込んでいるが、県内の海面処分場での受入れは概ね完了している。
- ・海運の利便性の高い臨海部に、売却可能なまとまった官有地がない。

【実現に向けた取組み:①海面処分場の設置と産業用地の確保】

- ①-1. 中期的な海面処分場の設置と産業用地の確保 ①-2. 産業用地に対する交通機能強化



5. 坂出港長期構想(素案) 【物流・産業】背後企業の成長を支え、競争力・利便性の高い港

5.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

II. 物流・生産・エネルギー拠点としての港湾機能の強化と再編①

(参考)第1回資料 2-18、2-31、4-1、4-4、4-6、4-7、4-9、4-14、8-1、8-4、8-5、8-10

【現状と問題点】

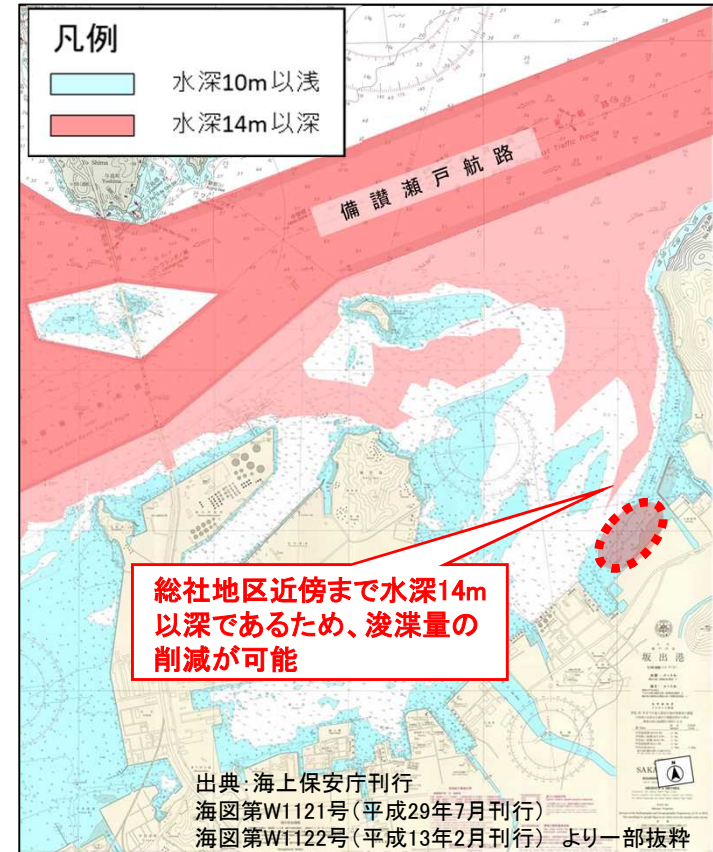
- ・岸壁水深の不足により、一部貨物船で喫水調整が行われており、将来的な抜港が懸念される。
- ・中央ふ頭地区では、施設が老朽化、陳腐化しているが、代替地がないため、現在の位置での更新・対策が困難である。
- ・林田地区では、利用状況により自動車専用船の滞船が発生している。

【要請と課題】

- ・大型船に対応した新たな大水深岸壁の確保
- ・老朽化、陳腐化した施設の更新
- ・過密利用されている岸壁及び野積場の分散
- ・背後企業の事業計画との調和

【実現に向けた取組み:①大型船に対応した新たな大水深岸壁の確保と埠頭施設の再編】

- ①-1.港内水深を活かした大水深岸壁の整備(埋立後) ①-2.埠頭の再編(大水深岸壁整備後)



5. 坂出港長期構想(素案) 【物流・産業】背後企業の成長を支え、競争力・利便性の高い港

5.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考)第1回資料 2-27、2-31、2-32、4-5、4-6、4-7、4-8、8-6

II. 物流・生産・エネルギー拠点としての港湾機能の強化と再編②

【現状と問題点】

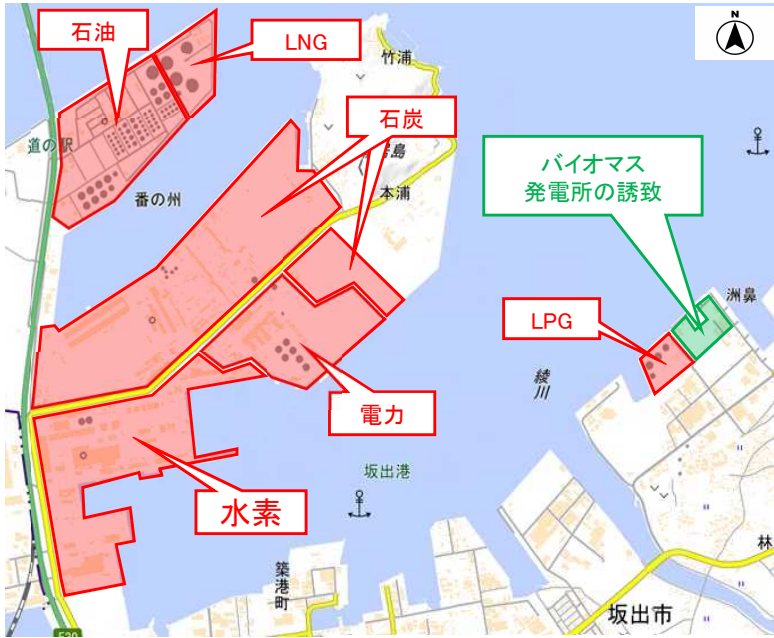
- ・世界各国が脱炭素社会の実現にむけて舵を切っている。
- ・我が国においても、2050年までに脱炭素社会を目指すと言明している。
- ・四国のエネルギー拠点として持続的な発展
- ・カーボンニュートラルポート(CNP)の実現に貢献する港湾

【要請と課題】

【実現に向けた取組み:②脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化】

②-1.国や企業との連携によるエネルギー施策を促進

■エネルギー関連企業の立地状況

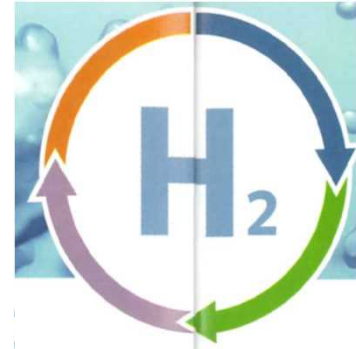


出典:国土地理院電子地図を加工して作成

○2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向け、**エネルギー関連企業が多く立地する産業拠点である港湾**は、**水素・アンモニア等の次世代エネルギーの輸入を含め、二酸化炭素排出量削減の取組みを進める上で、重要な役割を果たすことが求められている。**

■水素サプライチェーンの取組み

○川崎重工業(株)坂出工場では、水素活用社会に向けて、「つくる・はこぶ・ためる・つかう」の一連の水素サプライチェーンの構築に取り組んでいる。



出典:川崎重工業(株)パンフレット

■カーボンニュートラルの取組み

○イーレックス(株)では、バイオマス発電による、再生可能エネルギーの開発を目指し、坂出港(林田地区)への発電所建設を計画している。

事業主	イーレックス株式会社
発電所出力	74,950kW
年間発電量	約5億kWh (一般家庭約15万世帯分の年間消費電力に相当)
燃料	木質ペレット、パームヤシ殻(PKS)
工事着工	2022年度(令和4年度) 予定
稼働開始	2025年度(令和7年度) 予定

木質ペレット



パームヤシ殻(PKS)



出典:イーレックス(株)資料

5. 坂出港長期構想(素案) 【物流・産業】背後企業の成長を支え、競争力・利便性の高い港

5.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

II. 物流・生産・エネルギー拠点としての港湾機能の強化と再編②

(参考)第1回資料 2-27、2-31、2-32、4-6、4-7、4-8、8-6

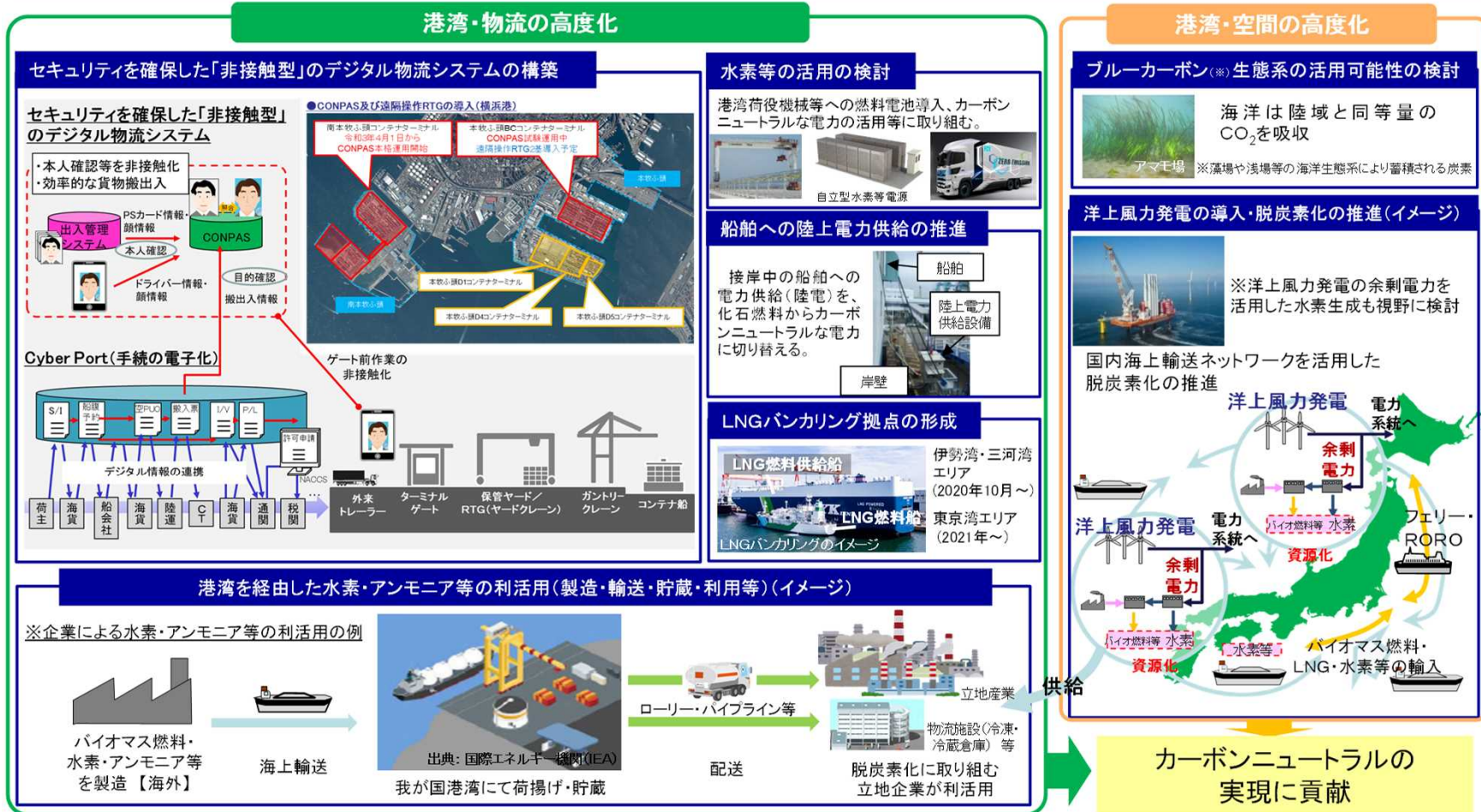
【実現に向けた取組み:②脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化】

②-1.国や企業との連携によるエネルギー施策を促進

【参考】脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化(イメージ)



世界的な脱炭素化への動きや政府方針等を踏まえ、我が国の輸出入の99.6%を取り扱い、CO2排出量の約6割を占める産業の多くが立地する港湾において、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて「カーボンニュートラルポート(CNP)」を形成し、我が国全体の脱炭素社会の実現に貢献していく。



5. 坂出港長期構想(素案) 【物流・産業】背後企業の成長を支え、競争力・利便性の高い港

5.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

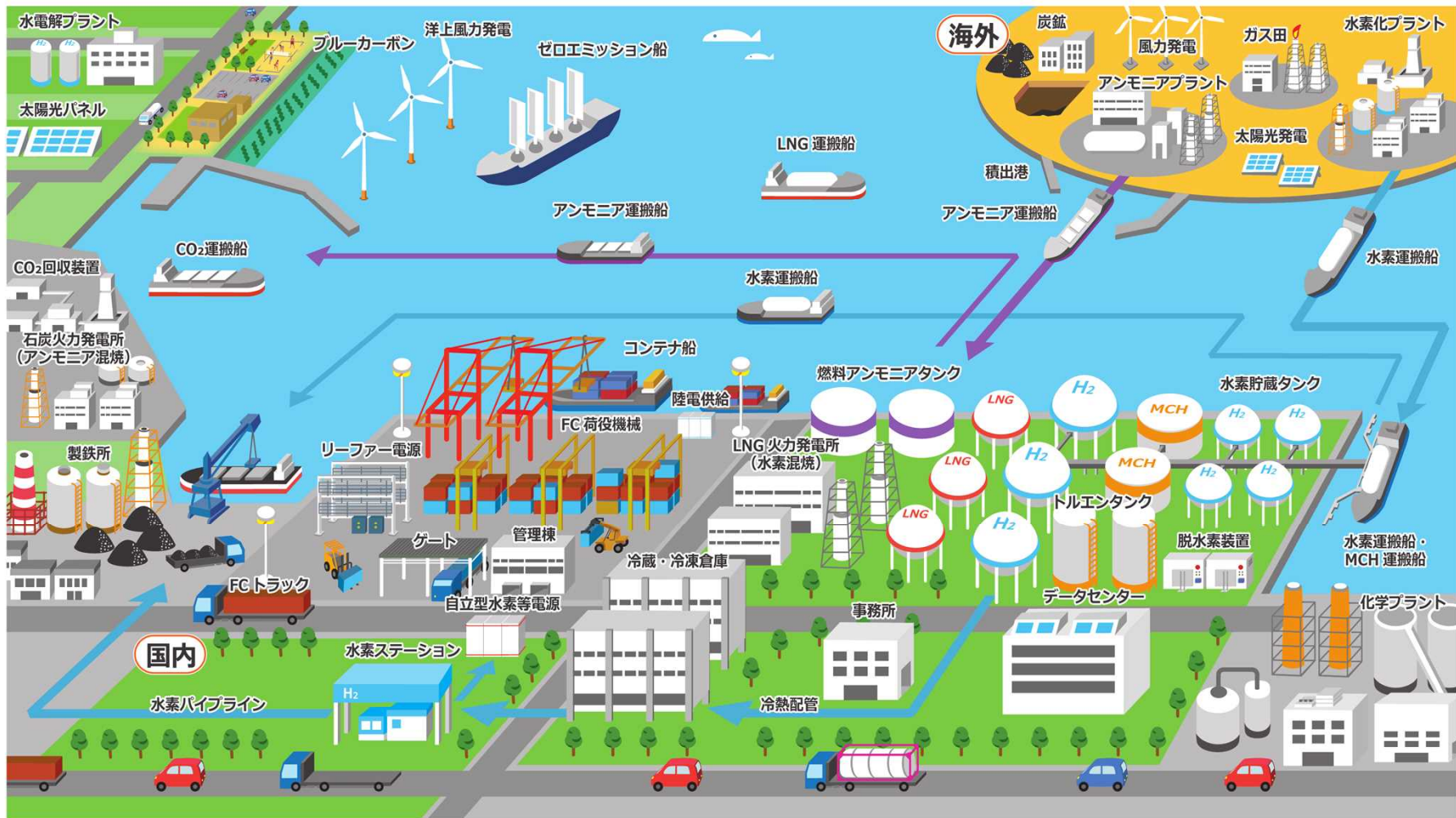
(参考) 第1回資料 2-27、2-31、2-32、4-6、4-7、4-8、8-6

II. 物流・生産・エネルギー拠点としての港湾機能の強化と再編②

【実現に向けた取組み: ②脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化】

②-1. 国や企業との連携によるエネルギー施策を促進

カーボンニュートラルポートの形成イメージ



5. 坂出港長期構想(素案) 【物流・産業】背後企業の成長を支え、競争力・利便性の高い港

5.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考) 第1回資料 2-5、2-6、2-22、2-31、4-5、4-6、4-10、8-1、8-3

Ⅲ. 陸上交通網を活かした貨物の集荷と海上輸送手段の確保①

【現状と問題点】

・定期RORO船航路は東京港からの下り便が無い。

【要請と課題】

・定期RORO船航路の維持、拡充のため東京港からの下り便が必要

【実現に向けた取組み: ①定期RORO船航路の維持、拡充】

①-1. 定期RORO船を利用する新たな荷主、運送事業者等の掘り起こし(実施中)

【取組みの経緯と方向性】

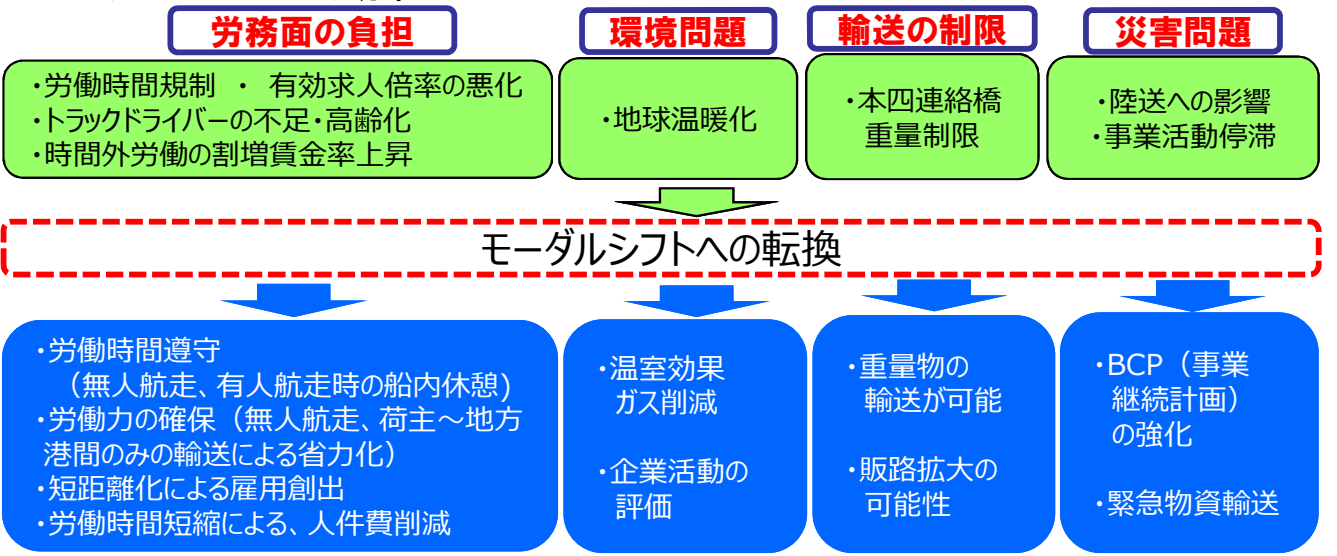
- ・坂出NPP策定以降、事業者ヒアリングを延べ64回(46社)実施しニーズを把握したほか、荷主事業者等と船社による意見交換会及び個別商談会を実施
- ・苅田港(福岡県)～東京港を結ぶRORO船が毎週土曜日に定期就航決定(R3.8.7より就航開始)
- ・定期RORO船の航路維持及び拡充に向けた新たな需要の掘り起こしを行うため、荷主企業、運送事業者等へのヒアリング等を引き続き行う。

■就航スケジュール等

運航会社: 商船三井フェリー株式会社
使用船舶: RORO船「すおう」、「ぶぜん」

港	金	土	日	月
東京(有明)	掲げのみ 06:00		15:30	
宇野・坂出	掲積	21:00	坂出港 16:00-18:00	06:00-21:00
苅田(北九州)	掲積	04:30	宇野港 11:00-14:30	04:30
	掲げのみ 22:30		00:30	

■モーダルシフトによる効果



■物流イメージ



出典: 四国運輸局講演資料

5. 坂出港長期構想(素案) 【交流・賑わい】市民が集い、観光客を呼び込む魅力ある港

5. 2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考) 第1回資料 2-20、2-24、2-25、2-31、4-11、4-12、8-7、8-8

IV. みなとを活かした賑わい・交流拠点の創出①

【現状と問題点】

・市街地近傍にある西運河地区の賑わいが限定的である。

【要請と課題】

・西運河地区での賑わい・交流拠点の創出

【実現に向けた取組み:①西運河地区の賑わい創出】

①-1.既存施設の活用 ①-2.緩衝緑地との連携 ①-3.既存岸壁でのクルーズ客船の受入れ(埠頭再編後)



①-3.クルーズ客船受入れ(埠頭再編後)

西運河地区の再生

中央ふ頭地区

海の幸ふれあい市場

西運河地区

番の州公園

坂出緩衝緑地

①-1. 既存施設の活用

観光船乗り場

商店街

①-2. 緩衝緑地との連携

市街地に近い好立地 駅から約800m 徒歩約15分

JR坂出駅

5. 坂出港長期構想(素案) 【交流・賑わい】市民が集い、観光客を呼び込む魅力ある港

5.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考)第1回資料 2-11、2-12、2-24、2-25、2-31、2-34、4-12

IV. みなとを活かした賑わい・交流拠点の創出②

【現状と問題点】

- ・様々な交通モードの連携不足のため、旅行者等が自由に移動する妨げとなっている。
- ・滞在コンテンツの情報を得るためには、様々な情報ツールを駆使する必要がある。

【要請と課題】

- ・アプリによるマルチモーダルな公共交通機関の一括した検索、予約、決済サービスの提供
- ・アプリによる商業施設、飲食店、観光地等の滞在コンテンツの情報提供

【実現に向けた取組み:②MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現】

②-1.検索、予約、決済サービスを一元化したアプリとデータ利活用基盤の構築【利用者の利便性向上】(実施中)

【イメージ(事例)】



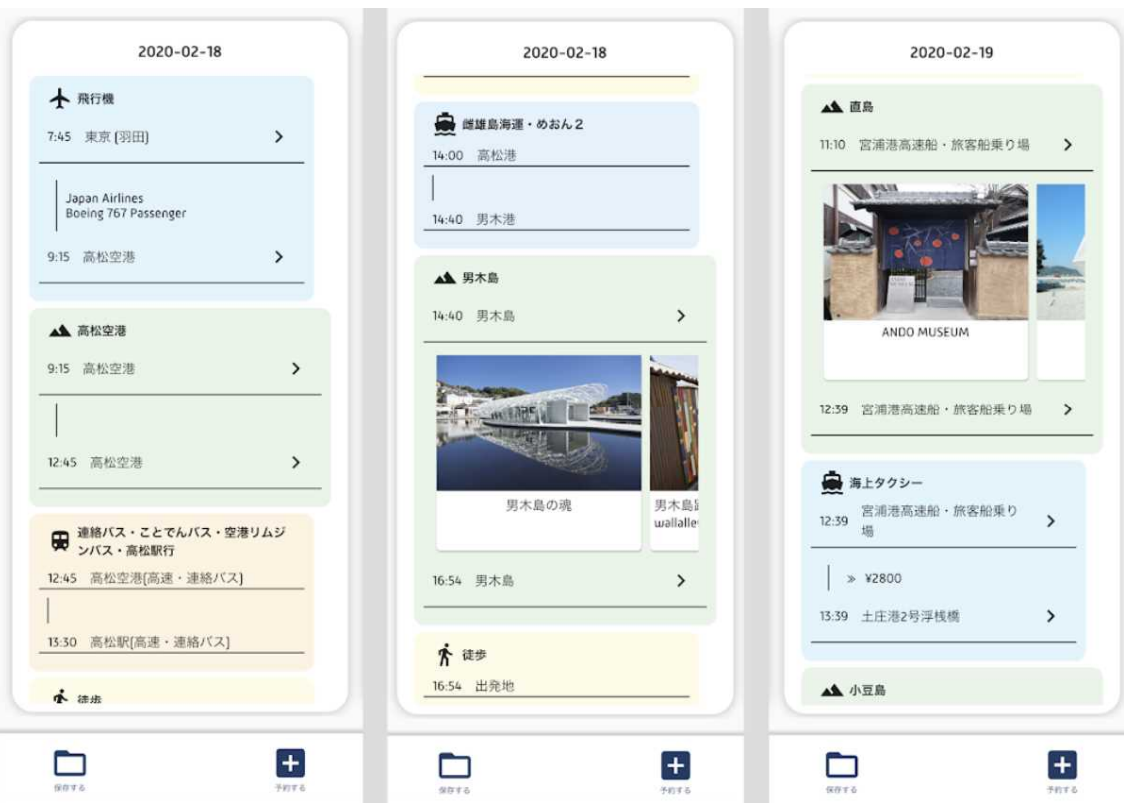
最適な旅程を提案!

空 飛行機の出発・到着時間、空港、便

陸 バス・鉄道の種類・便や徒歩の時間

海 海上タクシー・定期船の乗り場・出発時間

- アートスポットの巡る順番
- 滞在/宿泊日数



5. 坂出港長期構想(素案) 【交流・賑わい】市民が集い、観光客を呼び込む魅力ある港

5.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

IV. みなとを活かした賑わい・交流拠点の創出②

(参考)第1回資料 2-5、2-6、2-11、2-12、2-24、2-25、2-31、2-34、4-12

【現状と問題点】

- ・人手不足で弾力的な労働力調整が困難である。
- ・観光需要の繁忙期と閑散期に必要な受入体制に差がある。

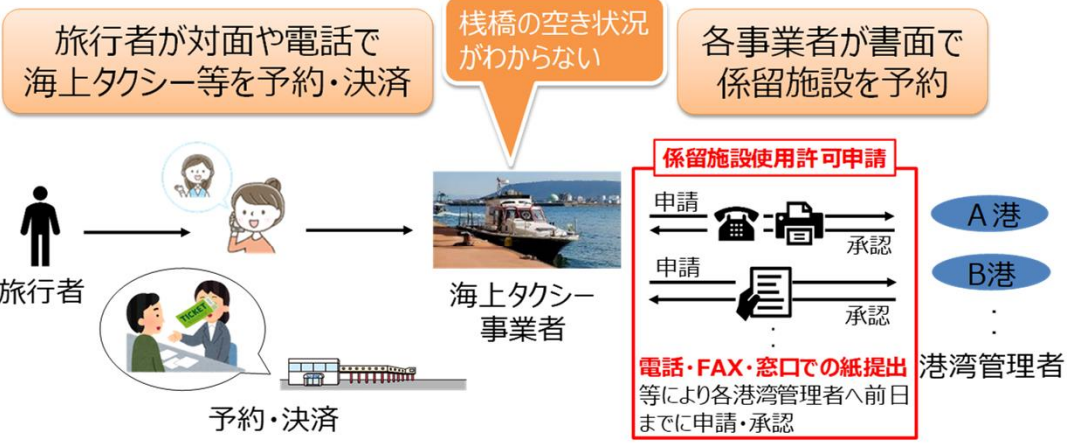
【要請と課題】

- ・DXやシステムの電子化による人のオペレーションと業務の改善

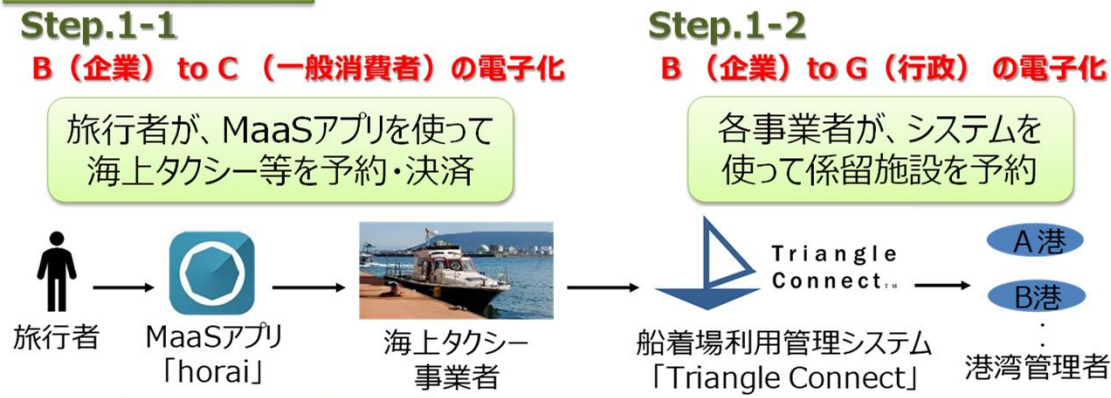
【実現に向けた取組み:②MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現】

②-1.検索、予約、決済サービスを一元化したアプリとデータ活用基盤の構築【管理者・事業者の業務効率化】(実施中)

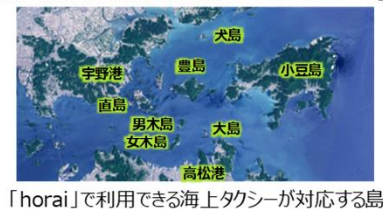
現在 Step.0



現在(実験段階)

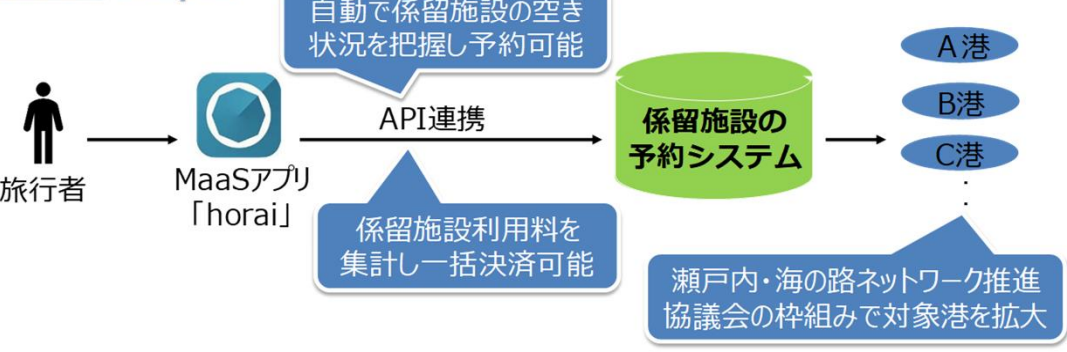


MaaSアプリ「horai」(H31年から実装)
移動手段の検討等の手間を無くし、効率的な旅程を実現する他、海上タクシーの手配・決済が可能な個人旅行者向け観光アプリ (scheme verge(株)開発)。



- 【R3年実証実験における検証内容】
- ①港湾管理者が使いやすいシステム要件 (パスウィンドウ形式の予約画面の使いやすさ等)
 - ②係留施設の予約システムとMaaSアプリとの連携方策 (海上タクシー事業者が行っている作業をどのように自動化するか等)
 - ③その他システムの導入にあたっての留意点 (港湾管理者がどのように利用承認を行うか等)

将来 Step.2



さらに将来 Step.3

- 宿泊施設や交通手段(鉄道・バス・レンタサイクル等)の予約など、様々なサービスとの連動
- 収集したデータに基づく瀬戸内の人流・滞在パターン分析
- 係留施設の需要変動に対応した変動料金の設定
- 他地域に応用可能なサービスプラットフォームの開発・整備

5. 坂出港長期構想(素案) 【交流・賑わい】市民が集い、観光客を呼び込む魅力ある港

5.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

(参考)第1回資料 2-6、2-11、2-12、2-24、2-25、2-31、2-34、4-12、8-8

IV. みなとを活かした賑わい・交流拠点の創出②

【現状と問題点】

- ・坂出港に寄港したクルーズ客船が行うオプションツアーの行き先では、市外が大部分を占め、県外にも流出している。
- ・高松港に比べ、海辺の賑わいが乏しい。

【要請と課題】

- ・みなと、産業、瀬戸大橋を活かした観光客の誘致
- ・夜間観光需要への対応

【実現に向けた取組み:②MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現】

- ②-2.MaaSによる交通連携とデータ活用によるサービス改善【対応地域の体験価値向上】(実施中)
- ②-3.地元の産業や観光資源を活かした観光客の誘致(実施中)



収集したデータに基づく瀬戸内の人流・滞在パターンの分析

- ・ユーザーの興味関心に合わせた店舗情報の配信
 - ・必要箇所へのバス路線等の開設
 - ・人の滞留箇所での店舗開設
- など、**継続的なサービスの改善**

【事例】産業観光ツアー (塩ができるまでの工程を見学)



出典: 坂出市

【事例】瀬戸内海ナイトクルーズ



出典: 坂出市

【事例】瀬戸大橋スカイツアー



出典: 本州四国連絡高速道路(株)HP

出典: 国土地理院電子地図を加工して作成

5. 坂出港長期構想(素案) 【安全・安心】災害時の市民生活や企業活動を支える港

5.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

V. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保①

(参考)第1回資料 2-26、2-27、2-28、2-29、2-31、4-4、4-6、4-13、4-14、8-9

【現状と問題点】

- ・南海トラフ地震が30年以内に70～80%の確率で発生する見込みである。
- ・平成16年8月の台風16号による高潮で県下沿岸部に被害が発生している。

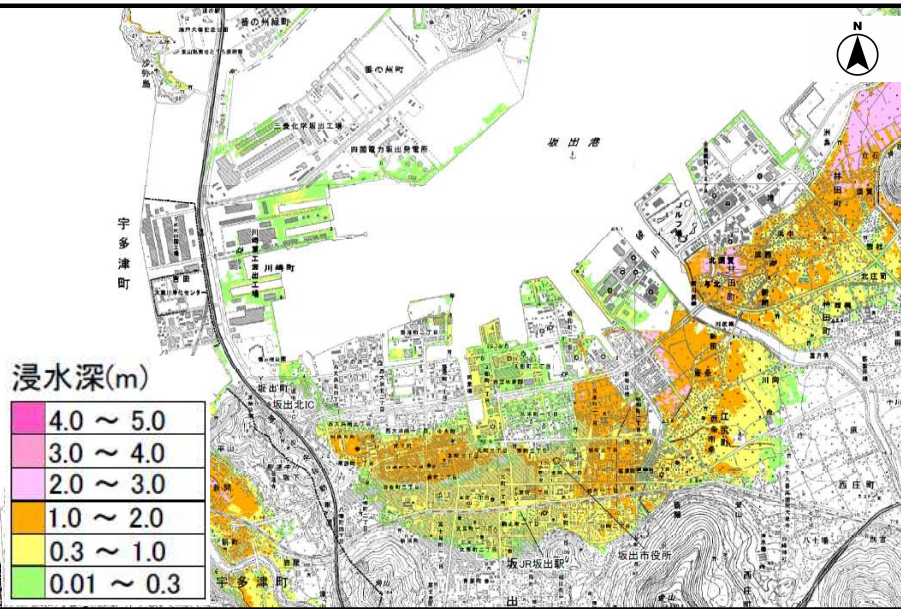
【要請と課題】

- ・港湾海岸施設における地震・津波・高潮対策の早期完成

【実現に向けた取組み:①計画的な地震・津波対策等の実施】

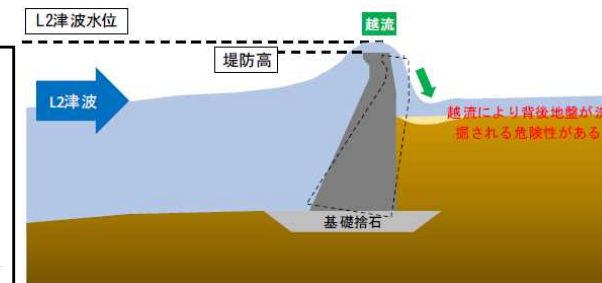
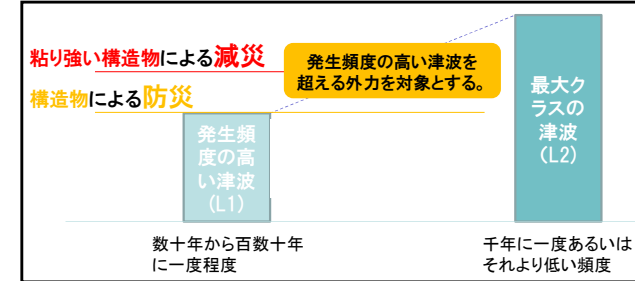
①-1.香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画の推進(実施中)

■被害想定事例

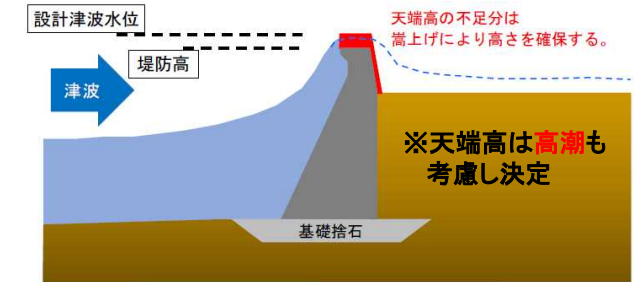


出典:香川県津波浸水想定図を加工して作成(最大クラスの津波 坂出市①)

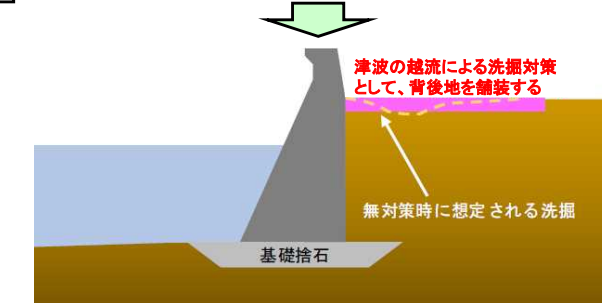
■対策方法の考え方



津波来襲時の危険性(最大クラスの津波(L2))



海岸堤防の対策例(高潮及び発生頻度の高い津波(L1))



粘り強い構造の方向性(最大クラスの津波(L2))

■対策事例

出典:香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画(令和2年3月)の図を加工して作成



【参考】東北地方太平洋沖地震による津波



H16.8台風16号の高潮による冠水状況



5. 坂出港長期構想(素案) 【安全・安心】災害時の市民生活や企業活動を支える港

5.2 長期構想実現に向けた取組みイメージ

V. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保②

(参考) 第1回資料 2-26、2-27、2-28、2-29、2-31、4-4、4-6、4-13、4-14、8-9

【現状と問題点】

・昨今の港湾を取り巻く環境は、自然災害の頻発化・激甚化、新型コロナウイルスの感染症拡大など様々なリスクが懸念されている。

【要請と課題】

・港湾BCPについて、「港湾の事業継続計画策定ガイドライン」の改訂に基づき、従来の地震・津波対応に加え、台風等への直前予防対応や感染症対応等を踏まえた充実が必要

【実現に向けた取組み:②坂出港BCPの充実】

②-1. 「台風等による高潮・高波・暴風等への対応」、「津波の来襲に対し船舶側を含めた対応」、「感染症への対応」

「港湾の事業継続計画策定ガイドライン」の主な改訂内容

■ 台風等による高潮・高波・暴風等への対応を位置づけ(直前予防対応)

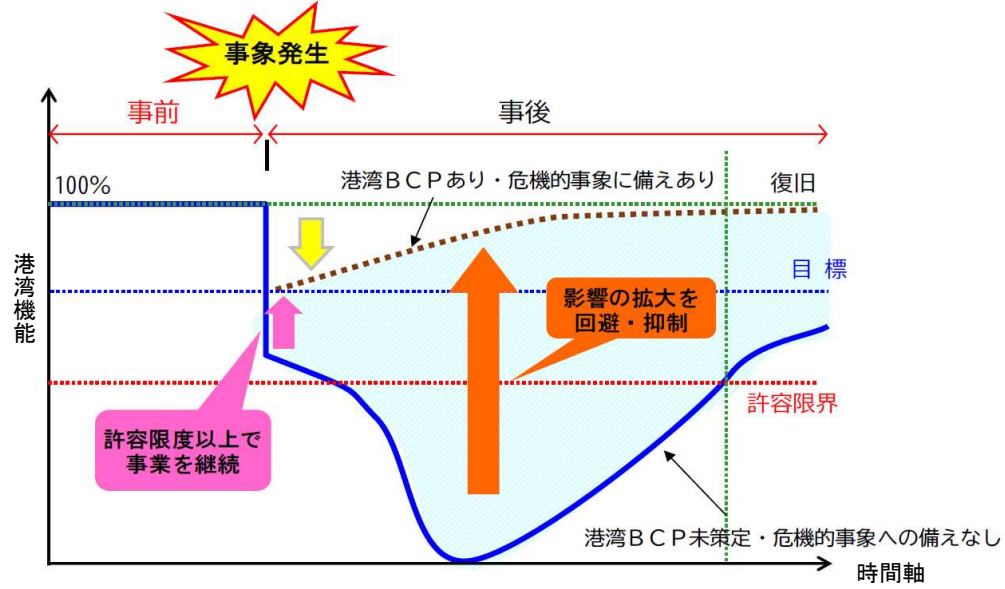


■ 船舶側の視点からの津波対応を位置づけ

- ① 沖合退避の迅速化
- ② 係留避泊の安全性向上
- ③ 船の衝突・乗揚げの抑制



■ 感染症への対応を位置づけ(感染症BCPの概念)



出典:国土交通省資料を加工して作成

5. 坂出港長期構想(素案) 【安全・安心】災害時の市民生活や企業活動を支える港

5.2 長期構想実現に向けた取り組みイメージ

(参考) 第1回資料 2-7、2-31、4-13、4-14、8-4、8-10

VI. スtockマネジメントの推進①②

【現状と問題点】

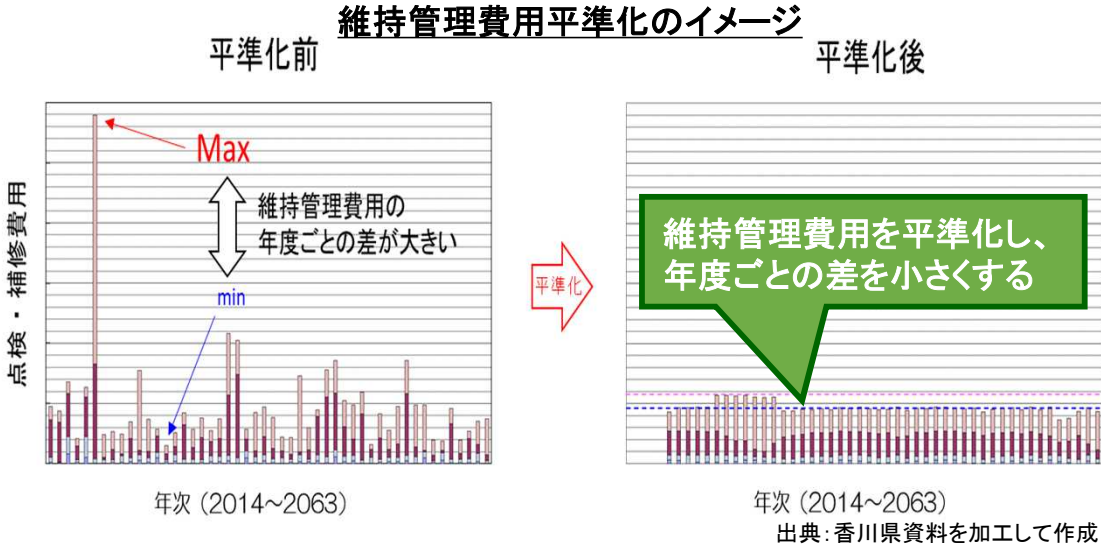
・老朽化した施設が急激に増加する一方、維持管理、更新・修繕に充当できる財源には限りがある。

【要請と課題】

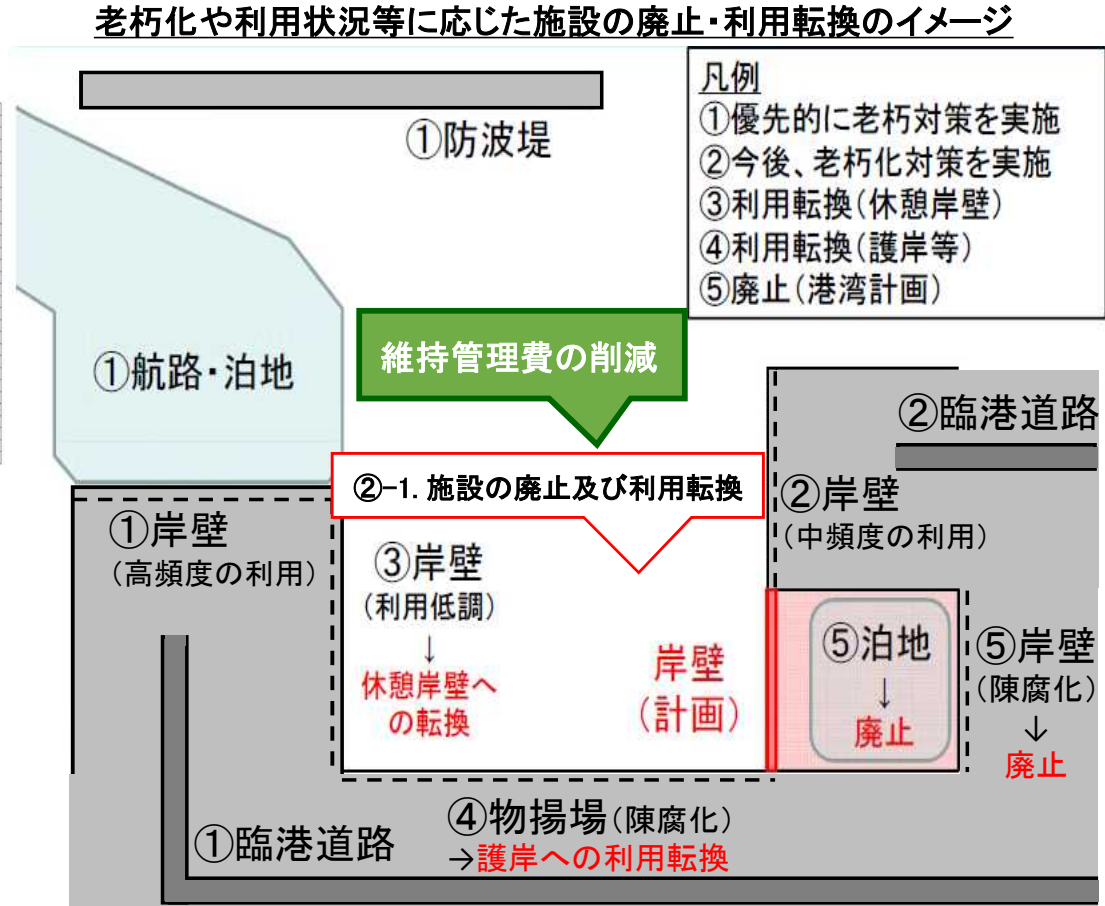
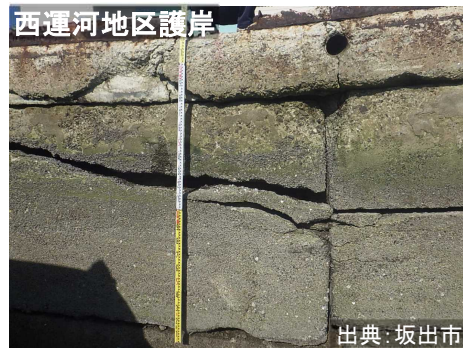
・維持修繕費用の平準化とコスト縮減

【実現に向けた取り組み: ①計画的な点検、補修の実施、②施設の廃止・利用転換】

- ①-1. 予防保全計画に基づく計画的な点検、補修、長寿命化施設工事の実施(実施中)
- ②-1. 老朽化や利用状況、社会情勢の変化に応じた施設の廃止・利用転換



予防保全計画に基づく護岸の点検状況



出典: 国土交通省 港湾局「港湾施設の維持管理に関する技術講習会資料」を加工して作成

5. 坂出港長期構想(素案)

5.3 長期構想実現に向けた取組みとスケジュール

実現に向けた取組みの内容		スケジュール		
		短期(10年)	中期(20年)	長期(30年)
物流・産業	I. 浚渫土砂等の海面処分場と産業用地の確保			
	① 海面処分場の設置と産業用地の確保			
	①-1. 中期的な海面処分場の設置と産業用地の確保			
	①-2. 産業用地に対する交通機能強化			
	II. 物流・生産・エネルギー拠点としての港湾機能の強化と再編			
	① 大型船に対応した新たな大水深岸壁の確保と埠頭施設の再編			
	①-1. 港内水深を活かした大水深岸壁の整備(埋立後)			
	①-2. 埠頭の再編(大水深岸壁整備後)			
	② 脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化			
	②-1. 国や企業との連携によるエネルギー施策を促進			
	III. 陸上交通網を活かした貨物の集荷と海上輸送手段の確保			
	① 定期RORO船航路の維持、拡充			
①-1. 定期RORO船を利用する新たな荷主、運送事業者等の掘り起こし(実施中)				

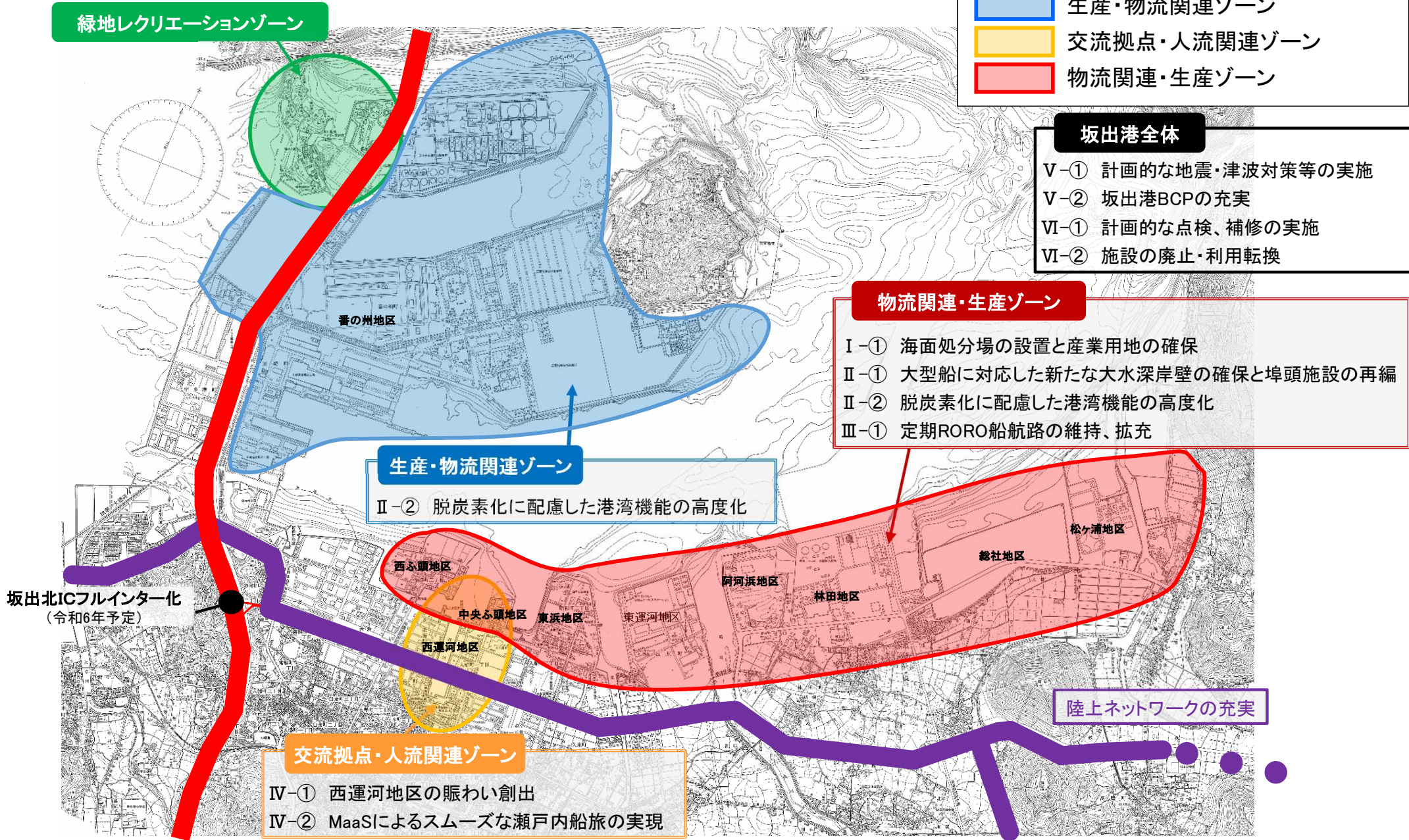
5. 坂出港長期構想(素案)

5.3 長期構想実現に向けた取組みとスケジュール

実現に向けた取組みの内容		スケジュール		
		短期(10年)	中期(20年)	長期(30年)
交流・賑わい	IV. みなとを活かした賑わい・交流拠点の創出			
	① 西運河地区の賑わい創出			
	①-1.既存施設の活用	■	■	
	①-2.緩衝緑地との連携	■	■	
	①-3.既存岸壁でのクルーズ客船の受入れ(埠頭再編後)			■
	② MaaSによるスムーズな瀬戸内船旅の実現			
	②-1.検索、予約、決済サービスを一元化したアプリとデータ利活用基盤の構築(実施中)	■	---	---
	②-2.MaaSによる交通連携とデータ利活用によるサービス改善(実施中)	■	■	■
②-3.地元の産業や観光資源を活かした観光客の誘致(実施中)	■	■	■	
安全・安心	V. 大規模地震・津波等への対応力強化と安全・安心の確保			
	① 計画的な地震・津波対策等の実施			
	①-1.香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画の推進(実施中)	■	■	
	② 坂出港BCPの充実			
	②-1.「台風等による高潮・高波・暴風等への対応」、「津波の来襲に対し船舶側を含めた対応」、「感染症への対応」	■	---	---
	VI. スtockマネジメントの推進			
① 計画的な点検、補修の実施				
①-1.予防保全計画に基づく計画的な点検、補修、長寿命化施設工事の実施(実施中)	■	■	■	
② 施設の廃止・利用転換				
②-1.老朽化や利用状況、社会情勢の変化に応じた施設の廃止・利用転換	■	■	■	

5. 坂出港長期構想(素案)

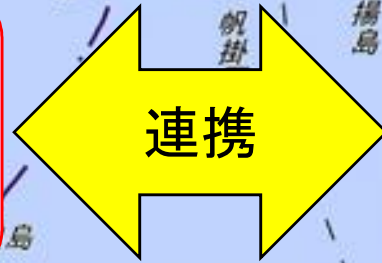
5.4 港湾利用ゾーニング



6. 高松港・坂出港の役割分担と連携

(坂出港)

- 大型貨物船の受入れ機能強化
- 定期RORO船航路の維持、拡充
- エネルギー拠点としての機能強化



(高松港)

- コンテナ貨物の受入れ機能強化
- 大型クルーズ客船の受入れ機能強化
- フェリー岸壁の機能強化

MaaSによる賑わいの連携

県道高松坂出線
4車線化による
アクセス機能強化

